



県章

周囲は富士山と武田菱を用い麗しい郷土を象徴しており、中の山は3つの人文字で山梨の山を形どり、和と協力を表現しています。
(昭和41年10月1日告示)



県旗

優雅なブドウ色を地に用い、中の山は県民の和と協力を、周りの富士山は清麗潔白、純粋性を表しています。曲線化した富士山は流動感を表し、県民の無限の向上を願ったものです。
(昭和41年12月1日告示)



県名の由来

山梨、八代、巨摩、都留の4つの郡からなる甲斐の国は、明治4年11月、廃藩置県で「山梨県」となりました。「やまなし」の由来は、果物のヤマナシがたくさん採れたから、山をならして平地にした「山ならし」からきているなどいくつかの説があります。



YAMANASHI

県のロゴマーク

四角すいにデフォルメした富士山の右側に新緑の山々、左側に県土に流れる清流と、ブドウの紫色を配したデザインで、自然豊かな山葉水明の山梨を表現しています。



県の花【フジザクラ】

4月から5月にかけて、富士の裾野を彩ります。木はあまり大きくなりず、花びらも小型で下向き加減に開きます。厳しい富士の風雪に耐えて、つつましくやかに咲く花は「和と忍耐」を表しています。
(昭和29年制定)



県の鳥【ウグイス】

春を告げる鳥として、昔から愛され親しまれています。里にも奥山にも生息し、他の鳥のひなを育てるという優しい習性を持っています。このことから「明朗と慈愛」を表しています。
(昭和39年6月制定)



県の獣【カモシカ】

国指定の特別天然記念物に指定されており、本県では、南アルプス、奥秩父、富士山、三ツ峠などの山岳地帯に生息します。高山の厳しい自然に耐えて生きていることから忍耐と努力を表しています。
(昭和39年6月制定)



県の木【カエデ】

一般的には、葉は緑色で、秋、霜をうけて美しく紅葉します。本県の山などを美しく彩るそのさまは「山々の男ふり見よ甲斐の秋（盛子）」などと詠まれています。
(昭和41年9月制定)

令和8年3月山梨県発行

〒400-8501
山梨県甲府市丸の内1-6-1
山梨県広聴広報グループ
TEL 055-223-1338



山梨県の
あらかまはこちら



この製品は、FSC®認証材および
管理を交えています。
印刷：(株)サンニシ印刷

山梨県の あらかまし 2026

YAMANASHI FACTS AND FIGURES



YAMANASHI
FACTS AND
FIGURES



山梨県知事
長崎 幸太郎

発刊のことば

山梨県は「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」の実現に向け、あらゆる施策を着実に実行し、確かな前進を重ねております。福祉分野では介護待機者ゼロ社会の実現、教育分野では25人学級の小学6年生までの拡充、エネルギー分野ではグリーン水素を製造するP2Gシステムを活用した水素社会の実現、さらにはリニア中央新幹線開業を見据えた富士トラムネットワーク構想など、他県や国の後追いではない先進的な取り組みを進めているところです。こうした取り組みを通じて、県民所得の着実な向上の実現を目指しています。

この冊子は、本県の今の姿を分かりやすく紹介するものとして刊行しました。本県が持つ魅力やポテンシャルに触れていただくとともに、かつて甲州財閥が示した開拓者精神を受け継ぐ私たちの挑戦にも関心を深めていただければ幸いです。

本書をきっかけに、「ふるさと山梨」をより豊かにする取り組みに多くの皆さまが参画されることを期待しております。



Contents

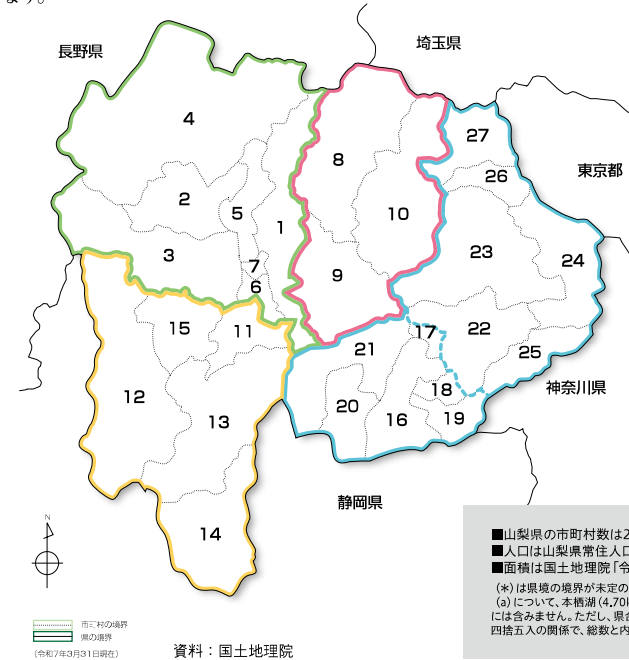
面積・人口・市町村	2	山梨の文化財	29
地勢	3	山梨の逸品	31
近現代 主な出来事	5	山梨の郷土食	33
国際交流	6	主な県立施設ガイド	35
山梨県の全国トップ3	7	山梨散策	37
データで知るやまなし	9		
やまなしの今	12		
世界遺産	23		
日本遺産	25		
世界農業遺産	27		
ユネスコエコパーク	28		

上から、身延山久遠寺(身延町)、花の都公園のひまわり(山中湖村)、南伊奈ヶ湖(南アルプス市)、大善寺(甲州市)

面積・人口・市町村

Area, Population, and Local Municipalities

山梨県は日本列島のほぼ中央に位置し、東京都、神奈川県、静岡県、長野県、埼玉県に囲まれた海のない内陸県です。面積は日本の総面積377,979.67km²(令和7年10月1日現在)の約85分の1に当たり、県土の約78%を森林が占めています。



総面積
*4,465.27km²
全国 第32位
(令和7年10月1日現在)

総人口
781,236人
(令和8年2月1日現在)

■山梨県の市町村数は27(13市8町6村)です。
■人口は山梨県常住人口調査(令和8年2月1日現在)によります。
■面積は国土地理院「令和7年全国都道府県市区町村別面積調」によります。
(*)は県境の境界が未定のため、便宜上の概算数値である参考値を記載しています。
(a)について、本栖湖(4.70km²)は、水面が境界未定のため、身延町と富士河口湖町の面積には含まれません。ただし、県合計には含まれます。
四捨五入の関係で、総数と内訳の合計が必ずしも一致しません。

市町村の境界
県の境界
(令和7年3月31日現在)

資料：国土地理院

中北地域	峡東地域	峡南地域	富士北麓地域	東部地域
1 甲府市 面積:212.47km ² 人口:184,351人	8 山梨市 面積:289.80km ² 人口:31,427人	11 市川三郷町 面積:75.19km ² 人口:13,347人	16 富士吉田市 面積:121.74km ² (*) 人口:44,126人	22 都留市 面積:161.63km ² 人口:29,159人
2 韮崎市 面積:143.69km ² 人口:27,525人	9 笛吹市 面積:201.92km ² 人口:64,536人	12 早川町 面積:369.96km ² 人口:874人	17 西桂町 面積:15.22km ² 人口:3,617人	23 大月市 面積:280.25km ² 人口:20,065人
3 南アルプス市 面積:264.14km ² 人口:69,827人	10 甲州市 面積:264.11km ² 人口:26,986人	13 身延町 面積:301.98km ² (a) 人口:8,829人	18 忍野村 面積:25.05km ² 人口:9,178人	24 上野原市 面積:170.57km ² 人口:20,681人
4 北杜市 面積:602.48km ² 人口:42,469人	14 南部町 面積:200.87km ² 人口:6,226人	14 南部町 面積:200.87km ² 人口:6,226人	19 山中湖村 面積:53.05km ² 人口:5,111人	25 道志村 面積:79.68km ² 人口:1,435人
5 甲斐市 面積:71.95km ² 人口:75,397人	15 富士川町 面積:111.99km ² 人口:13,205人	15 富士川町 面積:111.99km ² 人口:13,205人	20 鳴沢村 面積:89.58km ² (*) 人口:2,746人	26 小菅村 面積:52.78km ² 人口:596人
6 中央市 面積:31.69km ² 人口:30,652人	7 昭和町 面積:9.08km ² 人口:21,852人	7 昭和町 面積:9.08km ² 人口:21,852人	21 富士河口湖町 面積:158.40km ² (a) 人口:26,549人	27 丹波山村 面積:101.30km ² 人口:470人

地勢 Geographical Features

■甲府盆地から北を眺めると



山梨県は周囲を急峻な山々に囲まれています。北東部に秩父山塊、西部に3,000m級の山々からなる南アルプス、南部には世界遺産富士山、そして北部には八ヶ岳、茅ヶ岳が広い裾野をひいています。これらの山地は山岳、森林、湖沼、溪谷などの優れた景観に富み、富士箱根伊豆国立公園などの自然公園にも指定されています。

主な川 富士川は、日本三大急流の1つです。

	(流路延長)	(流路延長)
	(釜川(支流含む))	(丹波川(支流含む))
富士川	122.40km	28.40km
早川	61.00km	24.05km
桂川	52.85km	23.64km
笛吹川	46.50km	20.00km
荒川	34.00km	19.74km
塩川	33.06km	

(注)流路延長は山梨県内分 資料:河川表

主な湖沼

	(面積)	(標高)	(深さ)	(周囲)
山中湖	6.57km ²	980.5m	12.9m	12.9km
河口湖	5.52km ²	830.5m	14.0m	19.9km
本栖湖	4.70km ²	900.0m	121.2m	12.9km
西湖	2.10km ²	900.0m	71.5m	10.0km
精進湖	0.51km ²	900.0m	12.6m	6.1km

(注)面積:国土地理院 資料:河川表

主な山 日本の高い山トップ3が山梨にあります。

	(標高)	(標高)
1位 富士山	3,776m	駒ヶ岳 2,967m
2位 北岳	3,193m	赤岳 2,899m
3位 間ノ岳	3,190m	観音ヶ岳 2,841m
		薬師ヶ岳 2,780m
		地藏ヶ岳 2,764m
		鳳凰三山
		農鳥岳

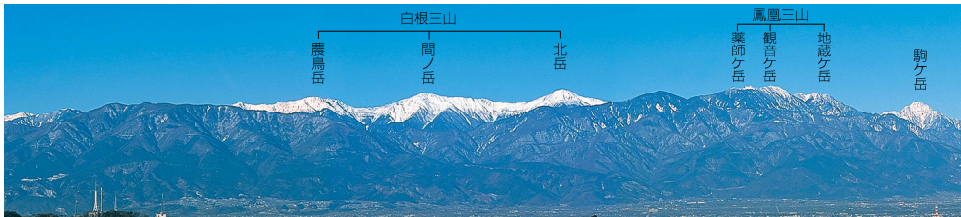
資料:国土地理院

自然公園 6つの自然公園の面積は、県土の約3割を占めています。

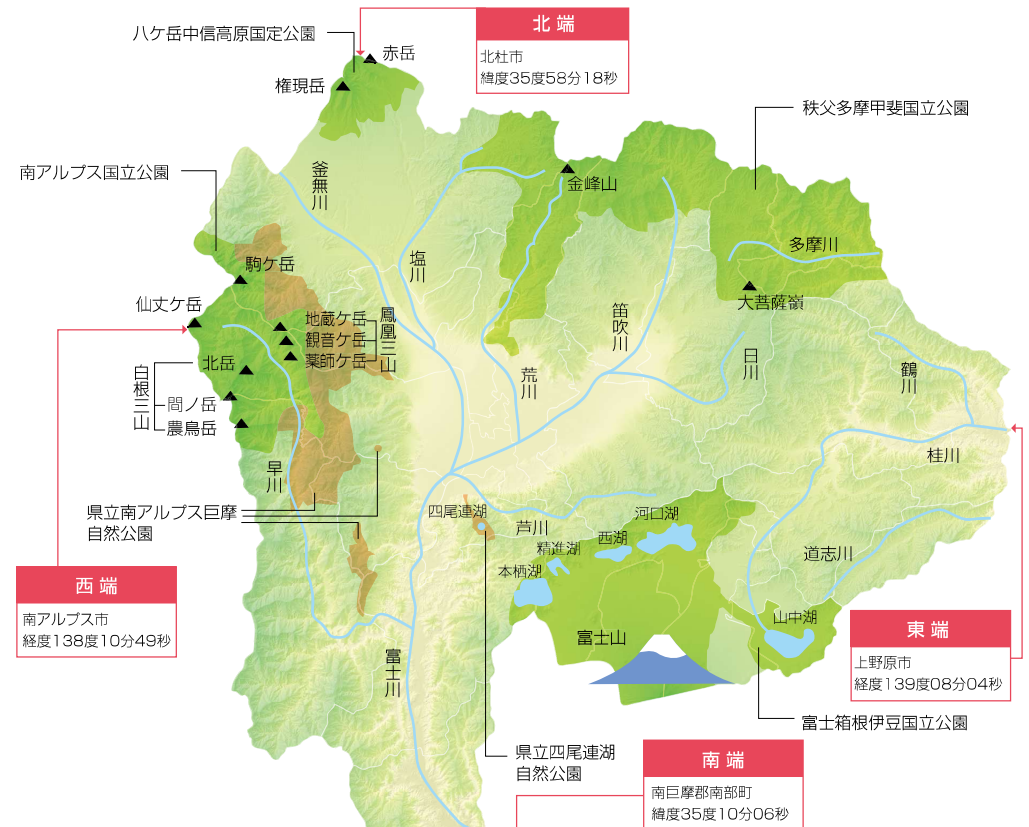
(面積)	(関係市町村)	(指定年月日)
富士箱根伊豆国立公園 36,796ha	富士吉田市外6町村	昭和11年2月 1日
秩父多摩甲斐国立公園 46,834ha	甲府市外4市2村	昭和25年7月10日
南アルプス国立公園 18,286ha	韮崎市外2市1町	昭和39年6月 1日
八ヶ岳中信高原国立公園 4,088ha	北杜市	昭和39年6月 1日
県立四尾連湖自然公園 362ha	市川三郷町	昭和34年4月 2日
県立南アルプス巨摩自然公園 14,841ha	韮崎市外2市3町	昭和41年4月 1日

(注)面積:国土院発表 資料:環境省自然公園局

■甲府盆地から西を眺めると



■甲府盆地から北東を眺めると



■甲府盆地から南東を眺めると



山梨の近現代 主な出来事

History



明治10年落成当時の山梨県庁



新世子トンネル開通



アイオワ州と山梨県が姉妹県と書かれた飛行機



オリンピックの自転車競技ロードレースで県内を走る選手ら

明治

- 元年 (1868) 官軍甲府入城、甲斐府を置く
- 2年 (1869) 甲斐府を廃し甲府県とする
- 4年 (1871) 甲府県を山梨県に改める
- 5年 (1872) 大小切騒動が起こる
- 6年 (1873) 大阪府参事藤村紫朗、山梨県権令となる (翌年県令となる)
- 10年 (1877) 山梨県庁落成。第十国立銀行設立
- 13年 (1880) 明治天皇巡幸
- 36年 (1903) 中央線が甲府駅まで開通
- 44年 (1911) 御料林を山梨県へ御下賜の御沙汰書。中央線新宿～名古屋間全線開通

大正

- 元年 (1912) 県恩賜県有財産管理規則制定
- 9年 (1920) 恩賜記念の謝恩碑が舞鶴公園に完成。第1回国勢調査、県人口58万3,453人

昭和

- 3年 (1928) 富士身延鉄道(現在の身延線)全線開通。県議会議事堂完成
- 5年 (1930) 県庁新庁舎(現在の別館)完成
- 6年 (1931) 中央線甲府～新宿間電化
- 7年 (1932) 富士山測候所開設
- 16年 (1941) 身延線国有化
- 20年 (1945) 甲府空襲、全市の74%が焦土と化す
- 25年 (1950) 「山梨県の歌」決まる。第1回植樹祭を山梨県で開催
- 33年 (1958) 国道20号に新世子トンネル開通
- 35年 (1960) アメリカ合衆国アイオワ州と姉妹締結
- 38年 (1963) 県庁舎本館完成(内藤多仲ら設計)
- 39年 (1964) 富士山有料道路(スバルライン)開通
- 44年 (1969) 中央自動車道富士吉田線開通
- 45年 (1970) 第1回信玄公祭開催
- 53年 (1978) 県立美術館開館
- 57年 (1982) 中央自動車道全線開通
- 61年 (1986) かいじり国体、ふれあいのかいじり大会開催

平成

- 元年 (1989) リニア新実験線建設地が山梨に決定
- 8年 (1996) 地方病の流行終息宣言
- 10年 (1998) 雁坂トンネル開通
- 15年 (2003) 「平成の大合併」県内第1号として、新・南部町誕生
- 17年 (2005) 山梨県立大学開学
- 25年 (2013) 「富士山」世界文化遺産登録
- 26年 (2014) 豪雪災害の発生
- 27年 (2015) 山梨近代人物館開館

令和

- 元年 (2019) 山梨「ワイン県」宣言
- 2年 (2020) 新型コロナウイルス感染症の世界的大流行
- 3年 (2021) 東京2020オリンピック/パラリンピック開催
山梨県が初めてオリンピック競技の開催地となる。
中部横断自動車道 山梨～静岡間全線開通
「峡東地域の果樹システム」世界農業遺産登録
「無生野の大念仏」ユネスコ無形文化遺産登録
- 4年 (2022) ベトナム社会主義共和国クアンビン省と姉妹締結
人口が43年ぶりに80万人割れ。「人口減少危機突破宣言」
- 5年 (2023) 富士山の登山規制を実施
- 6年 (2024) 山梨近代人物館開館
- 7年 (2025) 県立博物館内に「やまなし人物探訪」としてオープン



恩賜記念の謝恩碑



美術館の一級公開に訪れた県民たち



開通した中部横断自動車道

International Relations

国際交流

■問い合わせ先 国際戦略・自然首都圏推進課 TEL 055-223-1435

山梨県は現在までに世界各地の6都市と姉妹・友好締結を行っています。姉妹・友好都市のほか、令和6年度は、ネパールやベトナム・ラオカイ省(旧イエンバイ省)、インド・ウツタル・プラデーシュ州、アメリカ・カリフォルニア州ラグナビー市と新たな交流に関する覚書を締結しました。

外国人と日本人が互いの文化や考え方の違いを認め合う共生社会の実現を目指すとともに、行政だけでなく、民間が主導する友好関係を築くことで、新たなビジネスの創出や観光による消費拡大などにつなげ、国際交流の恩恵を県民の皆さんに実感してもらえる海外都市交流を推進しています。

姉妹州 アメリカ合衆国 アイオワ州

1960(昭和35)年3月14日締結

本県が昭和34年の台風で甚大な被害を受けたとき、同州から見舞いとして農産物が贈られたことが姉妹締結の直接の契機となりました。都道府県が結ぶ姉妹関係としては、わが国での草分けです。近年は同州で行われているペーコンフェスティバルを本県でも開催するなど、食文化を通じた民間の交流も行われています。

- 人口 324万人(2024年)
- 面積 14万5千km²
- 州都 デモイン市
- 農業 トウモロコシ、大豆、豚、鶏卵、牛
- 工業 機械、食品、化学、バイオテクノロジー



姉妹州 ブラジル連邦共和国 ミナス・ジェライス州

1973(昭和48)年7月25日締結

研磨・宝飾産業が盛んな本県に対し、同州は貴金属の原石供給地であることから姉妹締結を行いました。本県とは地球の反対側に位置し、中南米における国際交流活動推進の拠点となっています。古都オウロ・プレトやパンブーリャの近代建築群をはじめ、4つの世界遺産を有する観光地でもあります。

- 人口 2,139万人(2025年)
- 面積 58万7千km²
- 州都 ベロオリゾンチ市
- 農業 牧畜、コーヒー、大豆、サトウキビ、トウモロコシ
- 工業 鉱業、製鉄、セメント、自動車



作者 Adelano Lazaro

友好省 中華人民共和国 四川省

1985(昭和60)年6月18日締結

共に内陸部にあり、富士山、峨眉山等の名山を有するなど類似点が多く、民間レベルで活発に交流活動が行われていたことが契機となり、友好省の締結を行いました。省都である成都市は、中国西南部地域の商業貿易・金融・化学技術の中心地でもあり、西部大開発の中心拠点都市として発展しています。

- 人口 8,374万人(2024年)
- 面積 48万6千km²
- 省都 成都市
- 農業 水稲、菜種、生糸、馬鈴しょ、養豚、茶、野菜
- 工業 飲料、農産物加工、医薬品、IT、自動車



姉妹道 大韓民国 忠清北道

1992(平成4)年3月27日締結

ライオンズクラブやロータリークラブなどの民間交流をきっかけに、甲府商工会議所と清州商工会議所の姉妹締結を経て、両県道の姉妹締結に至りました。国の中央に位置する利点に加え、高速鉄道や清州国際空港、工業団地などのインフラ整備により、未来成長産業の中心地として活気ある経済活動が展開されています。

- 人口 159万人(2024年)
- 面積 7千4百km²
- 道都 清州市
- 農業 ブドウ、高麗人参、畜産物加工品、唐辛子、リンゴ
- 工業 半導体、電機電子、バイオテクノロジー、化学



姉妹県 フランス共和国 ソヌ・エ・ロアル県

2000(平成12)年4月7日締結

フランスを代表するワインの産地であるブルゴニエ地方南部に位置し、ソヌ川とロアル川がゆったりと流れ、なだらかに連なる丘と豊かな田園風景が印象的です。ワインと食を目的とした観光や、サイクルツーリズムが盛んです。

- 人口 55万人(2022年)
- 面積 8千6百km²
- 県都 マコン市
- 農業 ワイン、シャロレー牛、羊、フランス地鶏、チーズ
- 工業 金属、機械、食品加工



姉妹省 ベトナム社会主義共和国 クアンチ省

2023(令和5)年9月19日締結

ベトナム政府訪問団の来県をきっかけに交流が始まり、令和5年に姉妹友好県省を締結しました。ベトナム国内でも有名な観光地であり、大小約300の鍾乳洞や原生林で形成される世界遺産のフォンニャクバン国立公園が有名です。姉妹友好県省の締結を契機に、今後幅広い分野での交流が期待されています。

※2025年7月より、旧クアンビン省は合併によりクアンチ省になりました。

- 人口 186万人(2025年)
- 面積 12千km²
- 省都 ドンホイ市
- 農業 水稲、とうもろこし、さつまいも
- 工業 風力、太陽光発電、セメント、冷凍魚、天然ゴム、合成ゴム



魅力や意外な事実を紹介!

統計でみる山梨県の全国トップ3


標高



第1位 3,776m(富士山)
第2位 3,193m(北岳)
第3位 3,190m(間ノ岳)

国土地理院ホームページ


平均標高



第2位 995m

国土地理院ホームページ

多目的運動広場数(公共)



令和3年度
第3位 162.7施設(人口100万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2026(総務省統計局)

ミネラルウォーター生産量



令和6年
第1位 1,635千kℓ

日本ミネラルウォーター協会統計資料

ワイナリー数



令和6年
第1位 89事業所

酒類製造業及び酒類卸売業の概況(令和6年アンケート)

日本ワイン生産量



令和5年度
第1位 4,278kℓ

酒類製造業及び酒類卸売業の概況(令和6年アンケート)

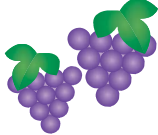
土地生産性



令和5年度
第2位 516.0万円
(耕地面積1ヘクタール当たり)

統計でみる都道府県のすがた2026(総務省統計局)

ブドウ生産量



令和6年
第1位 43,600t(年間)

作物統計調査(農林水産省)

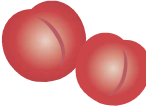
モモ生産量



令和6年
第1位 31,500t(年間)

作物統計調査(農林水産省)

スモモ生産量



令和6年
第1位 5,090t(年間)

作物統計調査(農林水産省)


貴金属・宝石製装身具(ジュエリー)製品製造業出荷額



令和5年
第2位 318億円

2024年経済構造実態調査(経済産業省)

ロボット製造業出荷額



令和5年
第1位 3,645億円

2024年経済構造実態調査(経済産業省)

生菓子製造業出荷額



令和5年
第2位 1,060億円

2024年経済構造実態調査(経済産業省)


1日の食事時間



令和3年
第1位 1時間45分

令和3年社会生活基本調査(総務省統計局)


アサリ支出金額



令和5年~令和7年平均
第1位 698円(1世帯当たり年間)

家計調査(二人以上の世帯)「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング


健康寿命



令和4年
第3位 73.47年(男性)

厚生科学審議会第4回健康日本21(第三次)推進専門委員会(厚生労働省)

ブドウ支出金額



令和5年~令和7年平均
第1位 6,577円(1世帯当たり年間)

家計調査(二人以上の世帯)「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング


干しあじ支出金額



令和5年~令和7年平均
第1位 1,084円(1世帯当たり年間)

家計調査(二人以上の世帯)「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング

高齢就業者割合(65歳以上)(対65歳以上人口)



令和2年度
第2位 29.8%

統計でみる都道府県のすがた2026(総務省統計局)


マグロ支出金額



令和5年~令和7年平均
第2位 8,279円(1世帯当たり年間)

家計調査(二人以上の世帯)「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング


他の魚介加工品支出金額



令和5年~令和7年平均
第3位 14,887円(1世帯当たり年間)

家計調査(二人以上の世帯)「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング

着工新設持ち家比率(対着工新設住宅戸数:マイホームを新しく建てる率)



令和6年度
第1位 64.7%

統計でみる都道府県のすがた2026(総務省統計局)

図書館数



令和3年度
第1位 65.8館(人口100万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2026(総務省統計局)


青少年教育施設数



令和3年度
第3位 16.1所(人口100万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2026(総務省統計局)


土木費割合(対歳出決算総額)(都道府県財政)



令和4年度
第3位 16.88%

統計でみる都道府県のすがた2026(総務省統計局)

消防費割合(対歳出決算総額)(東京都・市町村財政合計)



令和4年度
第2位 5.47%

統計でみる都道府県のすがた2026(総務省統計局)

平均消費性向(消費支出/可処分所得)(二人以上の世帯のうち労働者世帯)



令和6年度
第3位 70.2%

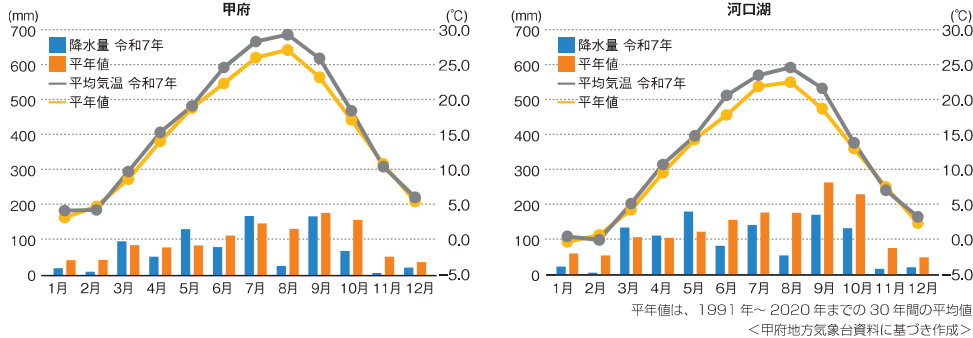
統計でみる都道府県のすがた2026(総務省統計局)

データで知るやまなし

Data File

気候

月別平均気温と降水量(令和7年と平年)



全国から見た山梨の気象(令和6年度)

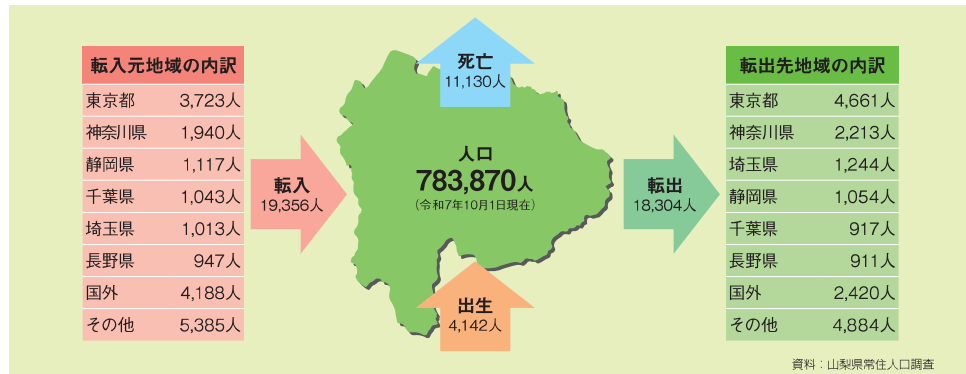
項目	単位	本県		全国最高値		全国最低値	
		指標値	順位				
日照時間(年間)	時間	2208.9	10	高知県	2309.0	山形県	1625.6
降水量(年間)	mm	1448.0	38	静岡県	3753.5	宮城県	1027.5
降水日数(年間)*	日	95	43	富山県	182	岡山県	86
年平均気温	℃	16.6	33	沖縄県	24.4	北海道	10.5
最高気温(日最高気温の月平均の最高値)	℃	34.8	15	熊本県	36.2	北海道	28.4
最低気温(日最低気温の月平均の最低値)	℃	-0.9	6	北海道	-5.1	沖縄県	15.3
年平均相対湿度	%	68	40	青森県 岩手県 新潟県 富山県 島根県 山口県	77	群馬県 広島県	62

*「降水日数」は、日降水量が1.0mm以上の日数

資料：統計でみる都道府県のすがた 2026 (総務省統計局)

人口動態

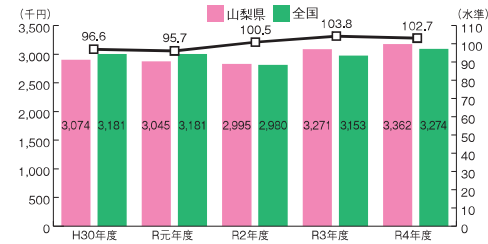
令和6年10月1日～令和7年9月30日



資料：山梨県常住人口調査

県民生活

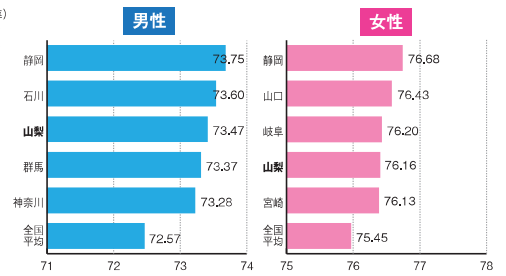
1人当たり県(国)民所得と全国との水準の推移



注) 1人当たり県民所得は「県民雇用者報酬、財産所得、企業所得」により構成されている県民所得を総人口で除したものである。したがって個人の給与や実収入額などの比較はできない。折れ線グラフは1人当たり国民所得を100とした場合の県民所得の水準の推移である。

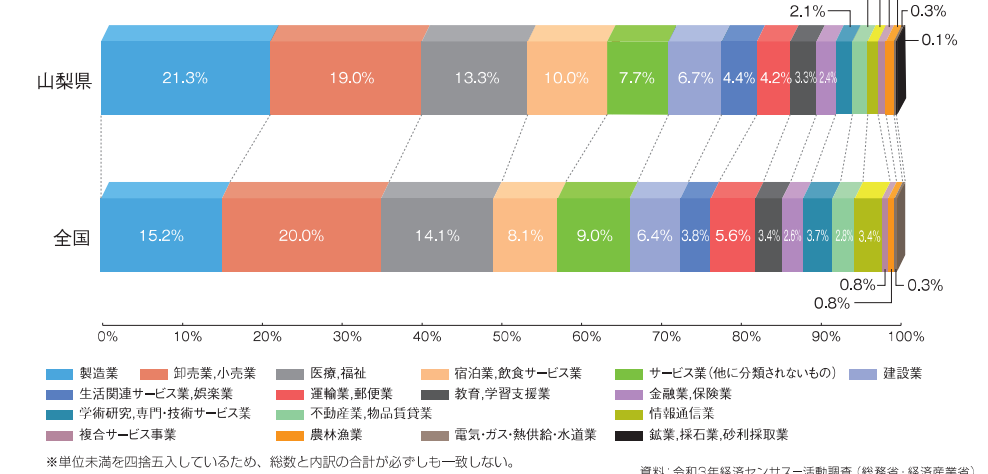
資料：令和4年度県民経済計算

健康寿命(令和4年)



資料：厚生科学審議会第4回健康日本21(第三次)推進専門委員会(厚生労働省)

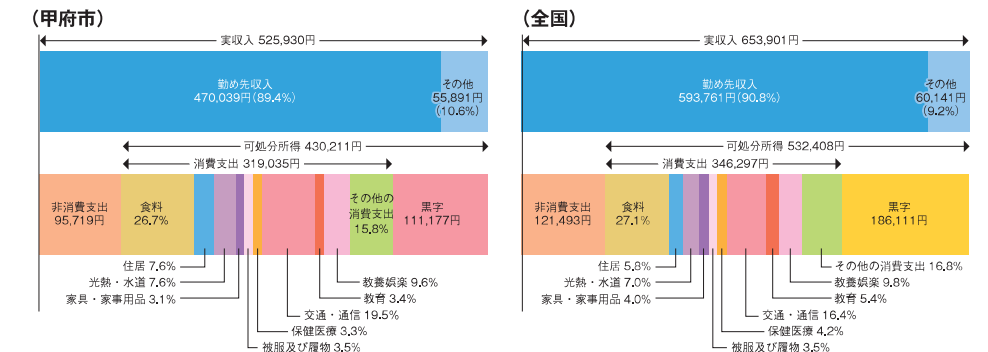
産業別従業者数構成比(令和3年)



*単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が必ずしも一致しない。

資料：令和3年経済センサス活動調査(総務省・経済産業省)

2人以上の世帯のうち勤労者世帯の家計収支(令和7年)



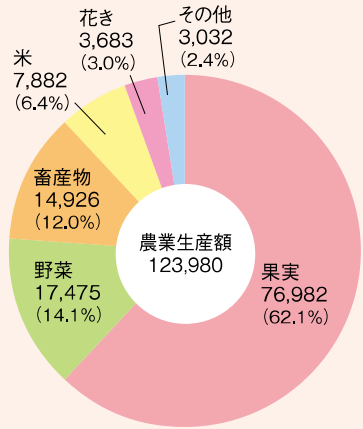
注) 1 図中の「勤め先収入」及び「その他」の割合(%)は、実収入に占める割合である。
2 図中の「食料」から「その他の消費支出」までの割合(%)は、消費支出に占める割合である。
3 図中の「消費支出」のうち、他の世帯への贈答品やサービスの支出は「その他の消費支出」に含まれている。

*単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が必ずしも一致しない。

資料：家計調査(総務省)

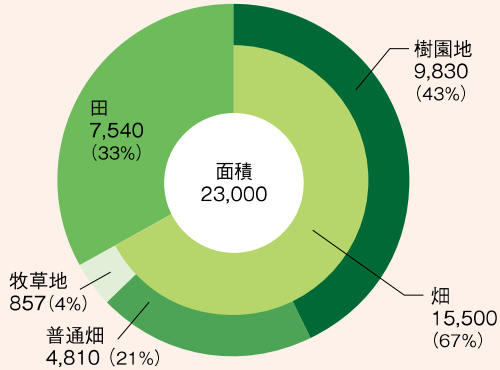
農業

農業生産額(令和6年)(単位:百万円)



資料:令和6年農業及び水産業生産額実績(山梨県農政部)

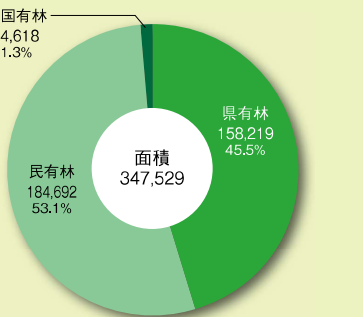
耕地面積(令和6年)(単位:ha)



資料:耕地及び作付面積統計(農林水産省)
(統計表の基準により四捨五入したため、計と内訳は一致しない。)

林業

所有形態別森林面積(単位:ha)



資料:令和7年度山梨県林業統計書
(端数処理により内訳の合計は100%にならない)

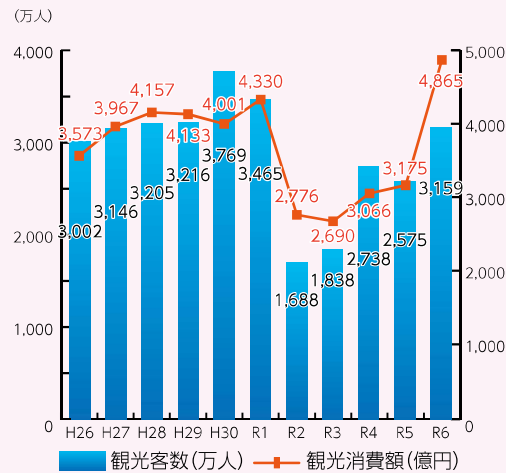
森林面積と森林比率

山梨	
総面積	446,527ha
森林面積	347,529ha
森林比率	77.8%

資料:令和7年度山梨県林業統計書

観光

観光客数・観光消費額の推移



資料:令和6年山梨県観光入込客統計調査

やまなしの今

Current situation in Yamanashi

- 問い合わせ先
- (リニア中央新幹線)
リニア・次世代交通推進課 TEL 055-223-1664
リニア整備推進室 TEL 055-223-1364
- (富士トラム)
山梨・富士山未来課 TEL 055-223-1330
- (道路交通網)
道路整備課 TEL 055-223-1686
高速道路推進課 TEL 055-223-1690

交通ネットワーク

山梨県は、リニア中央新幹線の開業や富士山における新交通システムの導入、道路交通網の整備など、交通ネットワークの整備に力を入れています。これにより、県内外へのアクセスが飛躍的に向上し、観光客の利便性向上や地域経済の活性化、生活環境の改善や物流の効率化も図られます。

また、リニア開業効果を最大限に発揮させるとともに、本県二次交通の抜本的な高度化を図るため、県内全域をシームレスにつなぐ新たな交通ネットワークの構築に向けた検討を進めています。

リニア中央新幹線

近い将来開業が予定されているリニアは、東京圏や名古屋圏、大阪圏の三大都市圏を結ぶ新たな交通の大動脈となります。本県においても、東京都心から約25分、名古屋から約45分で結ばれることとなり、国際空港からのアクセスも格段に向上します。リニアによって山梨は全国のみならず世界との結び付きも強化されることになります。

そして、(仮称)リニア山梨県駅(リニア駅)は中央自動車道や新山梨環状道路などを通じて道路ネットワークと結ばれます。県は、県内主要拠点とのさらなるアクセス向上を図っていきます。



L0系改良型試験車



リニア駅周辺整備の概要



富士トラムイメージ



リニア駅を拠点に県内各地を富士トラムで結ぶ構想

道路交通網

本県の骨格となる道路交通ネットワークの整備が進められています。甲府都市圏における交通の円滑化と、周辺地域の連携強化などを目的とする新山梨環状道路や、盆地と富士北麓地域を結ぶ国道137号の新たな御坂トンネル、リニア駅に隣接する中央自動車道の(仮称)甲府中央スマートICが整備されることで、県内各地の移動がスムーズになります。これは、生活環境の改善にとどまらず、観光客の周遊促進や物流の効率化など幅広い効果が期待でき、リニア開業効果の県内全域への波及にもつながります。令和3年8月には、中部横断自動車道山梨～静岡間が全線開通。静岡県と高速道路で直結したことで、清水港や富士山静岡空港までの所要時間が大幅に短縮され、国内外へのアクセスが飛躍的に向上しました。今後、長坂～八千穂間が整備されると、長野県との新たなルートが開け、さらに大きな効果が期待できます。県は、長野県とつながる中部横断自動車道長坂以北の早期整備を国に対して強く働きかけていきます。



県内で整備が進む交通ネットワーク

人口減少対策

山梨県は、出生率の低下を受け、令和5年度からオール山梨で人口減少対策の取り組みを本格的に開始しました。県民それぞれのライフステージに寄り添った切れ目のない支援を実現していきます。

■問い合わせ先
（人口減少対策全般）
人口減少危機対策課
TEL 055-223-1845
（プレコンセプションケア）
子育て・次世代サポート課
TEL 055-223-1425

若者の自己実現への支援

本県の人口は平成12年の約89万人をピークに減少を続けており、国勢調査を基準とした推計人口によると、令和8年2月には約78万1千人となっています。人口減少は、消費市場の規模縮小や深刻な人手不足などさまざまな面で問題を引き起こし、地域で暮らし続けることを困難にすると想定されます。

人口減少対策で特に重視するのは少子化対策です。少子化の背景には、子どもを持つ世帯の年収水準の変化があると考えられます。20年前には、年収300万円から350万円くらいでも子どもを持つと思っていたものが、現在は、450万円から500万円程度の収入がないと子どもを持つとしない傾向があります。今の子育て世代は、日本経済が低迷期に入った「失われた30年」の中で育ったため、将来の所得向上への期待感が持てず、「今現在の収入が十分でなければ子どもは持てない」という意識に変わっていると推測されます。

そのため、県内で働く人が「頑張れば報われる」「豊かになれる」という将来への確信を持ち、深めていくことが何より重要となります。そこで、県では働く人のスキルアップが企業の収益アップにつながり、賃金アップとして還元される「スリーアップ」の好循環の加速に取り組んでいます。（※詳細は16ページ参照）



人口減少問題について議論するフォーラムを開催



人口減少対策をテーマに動画制作をするZ世代の若者

男性育児休業の取得促進

男性も女性も家庭とキャリアを両立できる社会を実現するため、男性が家事や育児に積極的に参加し、職場の制度を活用しながら働き続けられる環境づくりを進めています。

若者が安心して出産や育児に向き合うためには、家庭だけでなく、社会全体で子育てを支えることが大切です。こうした考えのもと、本県では男性の育児参加を後押しする取り組みを進めています。

その一環として、男性育児休業の取得が当たり前となる社会を目指し、男性職員の育児休業取得率100%、かつ取得期間2週間以上を目指す「やまなし共育（ともいく）未来宣言」を県内企業団体と行いました。男性も育児に参加することで、子どもの成長に寄り添う喜びを実感できるとともに、夫婦や家族の絆がより一層深まることが期待されます。



宣言を行う関係者

プレコンセプションケアの推進

将来の妊娠・出産に備えて健康管理を行うことをプレコンセプションケア（プレコン）といいます。本県では若い世代が妊娠・出産に関する正しい知識を身につけ、自分らしいライフプランを考えてもらえるように、セミナーやプレコン健診を実施しています。

セミナーでは、プレコンに関する知識や情報を普及するとともに、プレコン健診では、職場の健康診断や本県と連携する医療機関において、将来に備えた現在の健康状態を調べることができます。

こうした取り組みの広がりにより、多くの県民がプレコンに関心を持ち、将来に備えた健康づくりに取り組む動きが広がってきています。本県ではこれからも、若い世代が安心して将来のライフプランを描ける環境づくりの充実に向けて、取り組んでいきます。



講師の話に耳を傾けるセミナー参加者

国際交流2.0

■問い合わせ先 国際戦略・自然首都圏推進課 TEL 055-223-1435

山梨県では、これまで世界各地の都市と姉妹・友好関係を築き、主に行政同士の交流を中心に国際交流を進めてきました。これからは、これまで培ってきた信頼関係を生かし、県民一人一人が主役となる新しい国際交流へと発展させていきます。

新たな国際交流のかたち「国際交流2.0」

現在、世界6都市との姉妹・友好関係を基盤に、行政中心だった交流を、文化、経済、教育など民間同士が実感できる交流へと広げています。

全国的に少子高齢化が進み、国内市場の縮小や労働力不足が深刻な課題となっています。国際交流を進めることで、成長を続ける海外市場への進出や、県内で不足しているIT人材や介護人材の確保など、地域の課題解決につながる効果が期待されます。

また、海外の国も同様に課題を抱えています。本県の強みである水素関連技術をはじめ、県が持つ知識やノウハウを提供することで、相手地域の課題解決に貢献できる可能性もあります。

富士五湖自然首都圏フォーラム

本県は、新しい時代の文化・芸術・教育の中心地となることを目指し、令和4年に産官学協同組織体「富士五湖自然首都圏フォーラム」を立ち上げました。この組織では「グリーン水素による持続可能な経済」「若者とアートによる活力ある社会」「社会起業家との連携による先進的な行政」という三つの柱で、海外の自治体・企業と国際プロジェクトを進めています。

グリーン水素分野では、令和8年に、国内外の産官学の多様な関係者が集い、議論する国際水素サミットを初めて開催します。

アート分野では、芸術・文化の中心地である米国・カリフォルニア州ラグラナビーチ市をはじめ、基本合意書を締結している海外都市等へ、令和7年度から学生を派遣しています。現地のアーティストらとアートを通じた交流を行い、未来を担うリーダー育成に取り組んでいます。



カリフォルニア州へ派遣された学生

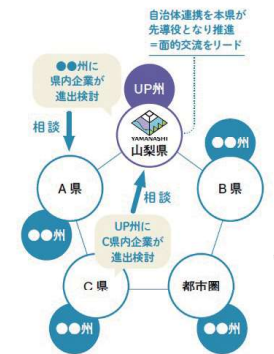


現地でアート作品を制作

面で広がる国際交流（ゲートウェイ構想）

本県では、近年国際社会で存在感を高めるインドとの交流に力を入れています。令和6年には、タージマハルを擁するウツクル・プラデーシュ州（UP州）と互恵関係の構築に向けた基本合意書を締結しました。UP州は人口が約2億4千万人と、本県の約300倍もの規模があります。このように国や地域の大きさが大きく異なる場合、一つの自治体同士による交流だけでは、継続性や成果の面で課題が生じることがあります。そこで単独で交流を進めるのではなく、国内の他の自治体とも協力しながら、海外の地域と幅広くつながる国際交流を推進しています。

この取り組みでは、本県がUP州との国内窓口（ゲートウェイ）となり、他の自治体から交流に関する相談を受けた場合や、UP州側から日本との連携について要請があった場合に、橋渡し役として多様で幅広いつながりを生み出していきます。こうした連携を進める枠組みとして、令和8年2月には、インド各州とつながりを持つ自治体が連携する「日印友好交流促進知事ネットワーク」が立ち上がりました。今後、それぞれの自治体が窓口となって連携することで、これまでの二者間交流を超え、他県も巻き込んだ面的な国際交流の展開を目指していきます。



ゲートウェイ構想イメージ

子ども一人ひとりに寄り添う 取り組み

山梨県では、全ての子どもが自分らしく学び、成長できる環境づくりを進めています。少数数教育の推進や不登校支援、子どもの居場所づくりなど多様なニーズに寄り添う施策を展開しています。

■問い合わせ先
(少数数教育の推進)
義務教育課 TEL 055-223-1755
(不登校支援)
特別支援教育・児童生徒支援課
TEL 055-223-1789
(子どもの居場所づくり)
こども福祉課 TEL 055-223-1459

少数数教育の推進

県は、子どもたち一人ひとりに向き合ったきめ細かな質の高い教育を提供することを目的とし、国の基準である35人学級を大きく上回る「25人学級」を、全国に先駆けて公立小学校に導入しています。令和3年度に小学校1年生に導入し、その後学年進行に伴い、令和8年度には小学校6年生まで拡大しました。

25人学級の導入により、子どもたち一人ひとりに丁寧な指導が行えるようになり、自己肯定感の向上や、最後まで粘り強く課題に取り組む姿勢につながっています。

また、教員の業務量が削減されていることから、学校現場だけでなく、保護者や地域の方々からも高く評価されています。

一方で、25人学級導入の影響が及ばない市町村に対しては、地域の強みを活かした特色ある教育活動に補助金を出すことで教育の充実を図っています。



25人学級が導入された小学校1年生の授業

不登校支援

出生率の低下により、子どもの数は減り続けていますが、不登校児童生徒の数は増え続けています。そこで、県は「誰ひとり取り残さない」教育を実現するため、取り組みの充実を図っています。

令和7年度からは、フリースクールの利用料を補助する取り組みを始めました。また、いじめや暴力行為といった学校だけでは解決が難しい場合に、家庭と医療機関や福祉機関をつなぐスクールソーシャルワーカーの増員にも取り組んでいます。

やまなし子供SOSダイヤル
24時間子供SOSダイヤル 相談支援センター

0120-0-78310
24時間 365日・通話料無料

いじめや不登校、発達のこと、ヤングケアラーの相談等
あなたの悩み、一緒に考えます

主な相談窓口

- 子供の発達相談ダイヤル 055-267-8235 (平日9:00~17:00)
- こころの健康相談ダイヤル 0570-064-556 (相談時間 平日12時~13時45分)
- 山梨いのちの電話 055-221-4343 (火~土 16:00~22:00)
- ヤングテレフォン 0120-31-7867 (火~金 10:00~17:00 ※相談料650円)
- 地域相談支援センターダイヤル 0120-189-7830 (全県365日)
- チャイルドライン 0120-99-7777 (24時間・16:00~21:00 ※相談料650円)
- よりそいホットライン 0120-279-338 (全県365日)

不登校などで悩んだ際の相談窓口

子どもの居場所づくり

県では、子どもが安心して過ごせる居場所を確保するため、モデル事業として中高生向けの居場所「放課後cafélab(カフェラボ)」を昭和町に開設しました。学習スペースのほか、Wi-Fiを完備し、スマートフォンによる動画撮影コーナーを設けるなど、自由に過ごせる場としました。県内の中高生は無料で利用でき、運営委託団体や大学生ボランティアが常駐して子どもたちの交流を支援しました。

今後は、県内全域で子どもの居場所づくりを推進していきます。



開設初日のキックオフイベントでは「放課後カフェラボ」のロゴを制作

ケアラー支援

■問い合わせ先 働く人・働き方支援課 TEL 055-223-1561

団塊の世代全てが75歳以上の後期高齢者となり、2040年には団塊ジュニア世代が65歳以上になる超高齢社会が加速し、介護を必要とする人の割合や介護する家族などケアラーの負担も増大することが想定されています。

「介護離職ゼロ社会」の実現に向けて

県は、県民誰もがケアラーになりうるという前提に立ち、介護で自分のキャリアやライフプランを諦めてしまうことのない「介護離職ゼロ社会」の実現に向けて、ケアラーへの支援や対策に全庁で取り組むため、令和6年7月にケアラー支援推進本部を立ち上げ、令和7年5月には「山梨県ケアラー支援推進パッケージ(フェーズ1)」を策定しました。

令和7年4月には、支援情報を一元的に掲載し、AIも活用した「やまなしケアラー支援ポータルサイト」の開設、令和7年9月には、ケアラーやひきこもりなど困難な状況にある方に支援を届けていくため、Podcast番組「やまなし♡つながる時間〜気づき、つながり、支え合う〜」をスタートしました。

今後も、ケアラー支援に向けたあらゆる取り組みを推進していきます。

ケアラーはこんな人たちです



ここからさらに不調のある人への「介護」「看病」「療育」「世話」「気づかい」など、ケアに必要な家族や近親者・友人・知人などを無償でケアする人たちのことです。



ポータルサイトはこちら



ポッドキャストの視聴は、radio.co アプリをスマートフォンにインストールしてください。
「やまなし♡つながる時間」で検索、radio.coの他にAu/Dee/Spotify/Apple Podcasts/Amazon Musicでも配信

スリーアップの好循環

■問い合わせ先 産業人材課 TEL 055-223-1566

山梨県は、県民一人ひとりが豊かさを実感できる社会を目指しています。そのため、従業員1人のスキルアップによって生産性を高め、企業の収益がアップすることで、従業員の賃金アップにつなげる「スリーアップ」の好循環を目標としています。

豊かさ共創スリーアップ実践企業認証制度

令和7年度から、企業の「スキルアップ・収益アップ・賃金アップ」を推進するスリーアップ実践企業認証制度を実施しています。スリーアップの取り組み実践状況に応じて、プレミアム認証とアドバンス認証の2つの区分で認証します。認証された企業には、低金利の制度融資を受けられるなどのメリットがあります。



やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ(CUU)

「やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ(CUU)」は、県内で働く方、求職中の方のリスキリングの拠点として、スリーアップのうちの「従業員のスキルアップ」を担います。

CUUでは、企業にとって必要なスキルや、受講生の経歴・キャリアプランを踏まえたスキルの向上につながる実践的な教育を提供し、学んだ知識やスキルが職場で活用できるようサポートします。



CUUの講座に多くの企業から従業員が参加した(左・右)

成長産業

■問い合わせ先 成長産業推進課 TEL 0552-234-565

山梨県の主力産業である機械電子産業の企業は、産業用ロボットや半導体の製造を支える高度な技術を持っています。これらの企業が培ってきた技術を生かし、今後成長が期待される医療機器関連産業や水素・燃料電池関連産業、航空宇宙防衛関連産業への進出を支援しています。

安定した成長が見込まれる産業分野へ進出する企業が増え、それらの企業が県内に集積することで、山梨は経済が継続して発展する地域となります。

医療機器

高度な技術を持つものづくり企業に、医療機器関連分野への進出を促し、県内一帯に集積させる「メディカル・デバイス・コリドー構想」の実現を目指しています。

メディカル・デバイス・コリドー推進センターを拠点に、法規制への対応、資金調達、販路拡大など、企業に寄り添った息の長い支援を行っています。医学部を擁する山梨大学とも連携し、本県の医療機器関連産業をけん引する技術者を育成しています。

令和5年11月からは、半導体受託製造（ファウンドリー）の医療機器版で、医療機器製造の受託拠点を形成する「全県ファウンドリー化」を進めています。また、世界最大の市場規模を誇る米国への進出も見据え、日米企業による交流会を実施して連携を深めています。

国内外に広がる市場の成長力を着実に取り込み、県内企業の収益拡大を図るとともに、先進的な医療機器の製造を担うことで、医療の質の向上にも貢献していきます。



半導体事業で培った技術を活用して医療機器関連分野へ進出した企業

相談件数
令和2年度 366件
令和6年度末 897件
2.4倍

医療機器分野
進出企業数
令和元年度末 71社
令和7年9月末 200社
2.8倍

TOPICS

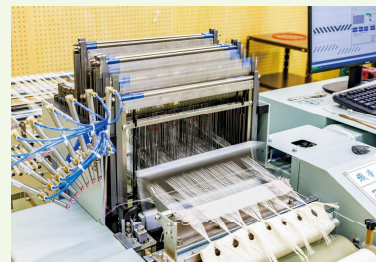
県内企業のモノづくりを強力にバックアップ

産業技術センターは、中小企業の技術的課題の解決や新技術・新製品開発などを支援しています。甲府技術支援センターでは令和4年6月に、富士技術支援センターでは令和7年5月に、それぞれイノベーション支援棟を整備して支援体制をさらに強化しました。

令和7年に整備したイノベーション支援棟には、繊維試作やデザインシミュレーション、X線CT検査、精密加工などを行う先端機器を導入し、高度化・複雑化する企業ニーズに対応できる環境を整えました。

地域に根付く繊維・機械電子産業の競争力をより一層高めるとともに、医療機器関連分野など成長産業に挑戦する企業も力強く後押ししていきます。

■問い合わせ先
甲府技術支援センター TEL 055-243-6111
富士技術支援センター TEL 0555-22-2100



新たに導入されたサンプル織機
工場用織機の約10分の1の規模で試作品をつくらることができる

水素

■問い合わせ先
(P2Gシステム)
新エネルギーシステム
推進課
TEL 055-234-5268
(企業立地)
成長産業推進課
TEL 055-223-1472

再生可能エネルギー由来の電力により水素を製造するパワー・ツー・ガス（P2G）システムの開発を民間企業と共に進めています。山梨発の水素関連技術の活用は国内で着実に広がり、本県は水素分野のトップランナーとして前進を続けています。

世界的な脱炭素化の流れの中、水素・燃料電池関連産業は今後も安定した成長が期待でき、企業の集積を進めることで県内経済をけん引する基幹産業化を目指しています。

やまなしモデル P2G システム 導入進む

「やまなしモデル P2G システム」は、高効率の電解質膜を用いた装置を採用し、小型でシンプルな構成でありながら、接続により大容量化にも対応できることが特徴です。県はこの P2G システムを積極的に展開しています。

令和7年10月には、北杜市と東京都大田区でグリーン水素製造拠点が完成しました。

北杜市の「グリーン水素パーク - 白州 -」に設置された施設*は国内最大のグリーン水素製造拠点で、製造した水素は隣接するサントリ天然水 南アルプス白州工場のボイラー燃料として活用されます。大田区の施設は東京都内で初めてのグリーン水素製造拠点で、狭小地の多い都心部における水素の地産地消のモデルケースとして、今後の発展が期待されます。

*新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成事業



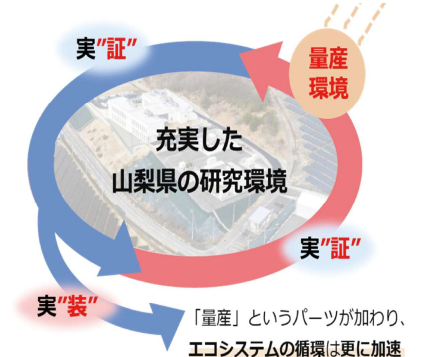
グリーン水素パーク - 白州 - に設置された施設(左)と内部の水素発生装置(右)

水素関連機器の量産工場が立地

水素発生装置を製造するカナデピア株式会社（大阪市）が都留市に工場を建設することが決まりました。この工場では、水を電気分解して水素を製造する工程で中核となる「水電解スタック」と呼ばれる機器を製造します。

全国を先導して水素の研究開発を進めてきた本県に、「量産」という新たな要素が加わることで、これまでの「実証」から「実装」への移行が加速します。

県内企業にとっても、部材供給や周辺機器の組み立て、メンテナンスなど、受注機会の拡大が見込まれます。工場の立地を契機に、県内企業の成長を後押しし、水素関連産業の振興と経済基盤の強化につながっていきます。



新たな挑戦への支援

山梨県は、スタートアップ(新興企業)の創出、誘致・定着に向け、手厚い支援に取り組んでいます。令和7年11月には、イノベーションの創造拠点となる施設がオープンし、多様な人材が集う交流の核として、新たな挑戦を後押しします。県内を舞台にした最先端技術の実証実験や社会実装の支援にも力を入れています。山梨県はスタートアップの挑戦を全力で支えていきます。

■問い合わせ先
(スタートアップ支援センター)
スタートアップ・経営支援課
TEL 055-223-1544
(TRY! YAMANASHI!)
新事業チャレンジ推進課
TEL 055-223-1514

スタートアップ支援センターオープン

甲府市川田町に、スタートアップ支援センター「愛称・CINOVA(知の場)」が誕生しました。愛称には「知が交わり、新たな価値を創造する場所」という思いが込められています。起業家や支援者、地域の人々が垣根なく集い、語り合い、共に創り上げることで、山梨発のイノベーションを生み出す“共創”の舞台を目指します。

センターは、オフィスをはじめ、コワーキングスペースや会議室、ウェブブース、シェアキッチン、ものづくりスタジオなど多彩な設備を備えています。中でも利用者に好評な2階のカフェは一般利用も可能で、カフェラウンジは100人規模のイベントにも対応。単なるシェアオフィス、コワーキングスペースの枠を超えた、知の交流拠点として期待が高まっています。



2階のカフェとカフェラウンジ

TRY! YAMANASHI!

近い将来のリニア開業を見据え、「テストベッド*の聖地」を目指した環境づくりを進めています。本県は、豊かな自然環境に恵まれたゆとりある空間や中山間地域をはじめとする多彩な実証フィールドなど、テストベッドに適した高いポテンシャルがあります。また、大都市圏とのアクセスも容易で、リニア開業により移動時間は大きく短縮されます。こうした優位性を生かし、「TRY! YAMANASHI! 実証実験サポート事業」ではオール山梨でスタートアップなどを支援し、全国展開を実現した事例も生まれています。実証後の本格的な事業化を支援する社会実装プログラムも展開中です。

山梨県は、未来へ果敢に挑戦するスタートアップから選ばれる存在として注目されています。

*実際の運用環境に近い状態で先端技術の実証実験を行う場



中山間地域の物流の課題を解決するドローン配送の実証実験(小菅村)

美酒・美食王国やまなし

■問い合わせ先
観光振興グループ TEL 055-223-1557

山梨県では、県内の素晴らしいロケーションの中で、旬の県産食材を使用した「料理」と、ワインや日本酒などの「県産酒」とのペアリングを、五感で味わう「体験」を「やまなしの美酒・美食」と位置付けています。

新たな食ブランドの確立と、「食」を目的とした本県への誘客促進と観光産業の収益向上を図るための、さまざまな取り組みを行っています。

やまなしグルメン・エコノミー

本県は、「やまなし」ならではの「食」体験を求めて多くの人が集まり、ビジネスチャンスを生み出す「グルメン・エコノミー(美食経済)」で賑わう地域を目指しています。

その一環として、令和6年に飲食店関係者と地元生産者の連携を促進するプラットフォーム「やまなしグルメン・エコノミー会議」を設置しました。商談会の開催や県産食材の視察会などを通じ、飲食店と生産者のネットワーク構築を支援しています。



若手料理人支援

県全体の「食」のレベル向上を図るため、次世代を担う若手料理人などの育成支援を行っています。著名シェフの技術を学べる「技術向上セミナー」や、若手料理人を起用したダイニングプログラムやチャレンジレストランを実施しています。

また、地域おこし協力隊制度を活用し、県外の若手料理人が県内トップシェフの技術や県産食材を学ぶことができる仕組みを構築し、将来の開業準備につなげます。

若手料理人がチャレンジできる場所といえば「山梨県」と認識され、多くの意欲ある若手料理人の挑戦が増加する好循環の実現を目指します。



やまなしスイーツプロジェクト

山梨といえば「フルーツ王国」。モモやブドウだけでなく、一年を通して生産される多種多様な県産果実などを活用した「やまなしスイーツ」が多くの人に届くことを目指しています。

県産果実スイーツに対する気運醸成とパティシエの成果発表の場として「やまなしスイーツコンテスト」を開催するほか、県産果実などの活用方法を学ぶセミナーなどを通じて、若手パティシエやスイーツ店舗のスキルアップを支援しています。

また、「やまなしスイーツ」による観光振興の拠点施設として、山梨県立博物館内に、「Museum café Sweets lab 葡萄屋 kofu」を令和6年にオープンしました。

カフェでは、山梨の四季を感じられるスイーツを1年を通して提供しています。さらに、若手パティシエの育成とチャレンジの拠点としての役割も担っています。



農業

■問い合わせ先 農政総務課 TEL 055-223-1583

山梨県は、変化に富んだ自然や大消費地の東京圏に近い有利な立地条件を生かしながら、農業者のたゆまぬ努力と「匠の技」などにより、特色ある農業の産地を形成しています。

ブドウ、モモ、スモモは全国一の生産量を誇りフルーツ王国として知られる本県には、他にも生産者が作り上げる優れた農畜水産物が揃っています。こうした逸品を多くの方の手に取っていただけるようプロモーションやブランド力向上に取り組んでいます。

おいしい未来へ やまなし

本県は、良質な水や長い日照時間、豊かな土壌に恵まれており、高品質な農畜水産物が生産されています。

県では「おいしい未来へ やまなし」をキャッチフレーズに、県産の農畜水産物の魅力を発信し「やまなしブランド」の浸透を図っています。品質の高さに加え、農業分野から脱炭素社会の実現に貢献する「4パーミル・イニシアチブ」や家畜の快適性に配慮する「アニマルウェルフェア」など、おいしさの先を行く、先進的な取り組みを実践紹介しています。また、芸術品ともいわれる本県の逸品を生み出す匠の技や生産者の想いをストーリーとして広く発信しています。

今後も生産者の所得向上の実現に向け、積極的なプロモーションを展開し、県産農畜水産物の価値を高めていきます。



「おいしい未来へ やまなし」
について詳しくはこちら



YAMANASHI
4 per 1000
INITIATIVE

4パーミル・イニシアチブのロゴマーク



YAMANASHI
ANIMAL
WELFARE

アニマルウェルフェアのロゴマーク

高温に強くておいしいお米「にじのきらめき」

「にじのきらめき」は、国の研究機関が育成したお米の品種です。甲府盆地の高温下でも栽培しやすく、味はコシヒカリ以上と評価されています。

「やまなし「にじのきら」アンバサダー」の江崎新太郎さん（「ミシュランガイド東京」で7年連続三つ星を獲得）からも高評価を受け、親しみを込めて「にじのきら」という愛称でその魅力をPRしていただいています。

県は、猛暑でコシヒカリの品質低下が起きやすい標高の低い地域を中心に普及を進めています。ブランド化も進め、安定生産と高収益化を目指します。



たわわに実る「にじのきらめき」

農業もカーボンフリーの時代へ

世界で脱炭素化の動きが進む中、県は水素社会の実現に向けた取り組みとして「カーボンフリー農業」を推進しています。

企業との共同開発によるグリーン水素*を燃料とした暖房機の導入や、大学との共同研究により薄く折り曲げることが可能で光を透過する次世代太陽電池の設置を、令和7年度から、果樹試験場の農業用ハウスなどで実証試験に取り組んでいます。

将来的に、カーボンフリー農業により生産された農産物は、環境に配慮した農産物として新たな価値を提供することで、生産者の所得向上につながることを期待できます。

*再生可能エネルギーを使い製造過程でCO₂を一切出さずに造られた水素



青色LEDでサンシャインレッドの色づきをよくする実証試験（左）有機薄膜太陽電池、折り曲げられ、光も通す（右）

地場産業

■問い合わせ先 産業振興課 TEL 055-223-8871

山梨県には、長い時間をかけて磨き上げた伝統的な地場産業が数多くあります。

お酒では、「甲州ワイン」をはじめ国内外で高い評価を受けているワイン、伝統的技法が各地の気候風土に応じて発展し、日本文化に欠かせない存在であることからユネスコ無形文化遺産に登録された「伝統的醸造り」による日本酒があります。プロダクトでは、高度な技術で美術品の域に高められている水晶貴石細工、千年以上の歴史を誇る産地で作られる織物（テキスタイル）、そして風土と暮らしの中で受け継がれてきた印章や印伝といった工芸品などがあります。

雄大な自然と歴史の中で思いを込め、時間をかけて丁寧に仕上げる匠とその技が、本県の地場産業を支えています。



美酒美県やまなし

お酒の地理的表示（GI）は、地域の気候や風土、伝統的な製法などを生かし、品質にこだわって生産に取り組んでいる産地を国が指定する制度です。

平成25年に全国で初めてワインでGI「山梨」が指定され、令和3年には日本酒でもGI「山梨」が指定されました。同じ県から2つの酒類でGIが誕生したのも全国初です。これを受け県は、美味しいお酒は美しい自然が育てる「美酒美県やまなし」と銘打ち、本県が誇る美しい自然と匠の技から生み出される高品質な日本酒・ワインを国内外に向けてPRしています。

「美酒美県やまなし」として日本酒とワインをPR



やまなしの美技

伝統産業・地場産業の魅力を伝えるべく、さまざまなプロモーションを展開しています。

本県は、国内屈指のジュエリーの産地であり、国際的なジュエリーフェアの開催などブランド化や国内外の販路拡大に向けて取り組んでいます。

富士・東部地域の代表的産品である郡内織物は、海外の展示会出展を通じ、新しい市場の獲得を図っています。

また、印章や和紙などの「山梨県郷土伝統工芸品」の振興や次世代への伝承のため、展示会などを通じ、県内外へのPRや普及に努めています。



山梨の夏服「かいくーる」

千年前から郡内地域で受け継がれてきた郡内織物は、時代のニーズに合わせて多様な商品が生み出されてきました。その1つが、山梨県絹人織物工業組合が中心となり令和4年度に製作した「山梨の夏服」です。令和5年度には全国知事会公式ウェアに採用され、愛称「かいくーる」が決定し、令和6年度から一般販売も行われています。「山梨の夏は「かいくーる」で過ごす」が広まるように県内外への普及に努めています。



World Heritage 世界遺産

世界遺産富士山 「信仰の対象と芸術の源泉」

日本一の高さを誇る富士山。2013年6月22日に「富士山 - 信仰の対象と芸術の源泉」の名称のもと、世界文化遺産に登録されました。

富士山は「信仰の対象」であるとともに「芸術の源泉」として、日本人の自然観や日本文化に大きな影響を与えてきた歴史があります。

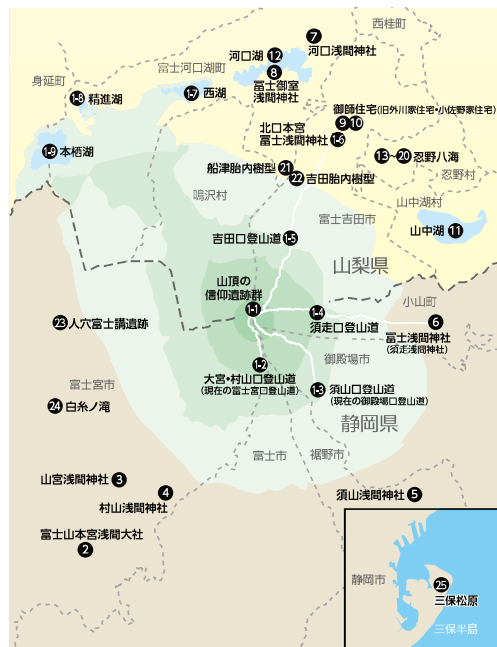
かつて富士山は、激しい噴火を繰り返す火の神として人々から畏れられていました。しかし、平安時代になり噴火が沈静化してくると、富士山の中に入り修行する人が現れます。このような人々の信仰は一般民衆にも普及し、江戸時代になると富士講と呼ばれる信仰集団が爆発的に広まり、多くの人が富士山に登るようになります。また、葛飾北斎などの浮世絵のモチーフとして富士山が多用され、日本人の生活に溶け込んでいきます。人と自然が信仰と芸術を通して共生する姿は、富士山が持つ大きな特徴といえるでしょう。

このような富士山の歴史や文化にゆかりのある25の構成資産には、その山体だけでなく、周囲にある神社や風穴、溶岩樹型、湖沼などもあります。ユネスコ世界遺産委員会はこれらの価値を認め、未来に受け継ぐべき世界の宝として世界文化遺産への登録を決定したのです。

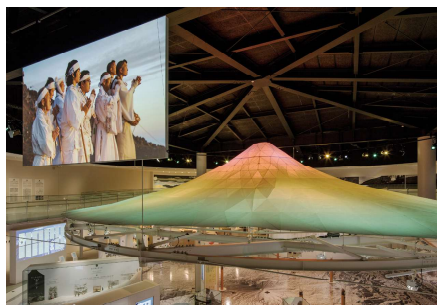


「桜に酔う峰」撮影場所：富士吉田市（やまなし世界遺産富士山フォトコンテスト 写真部門 銀賞作品）

構成資産分布図



富士山世界遺産センター



富士山の「信仰」と「芸術」、自然など25の構成資産からなる「世界遺産富士山」の魅力を分かりやすく紹介する施設です。南館では、富士信仰の旅をVR映像で体験することもできます。北館では、富士山や周辺地域などの観光案内を行っています。

富士河口湖町船津6663-1
TEL 0555-72-0259
FAX 0555-72-0211

バリアフリー対応駐車場・トイレ・エレベーターあり



信仰の対象



⑤北口本宮富士浅間神社

富士山信仰の聖地。富士講が富士登拝に出発すると、まずこの神社を参拝し、境内にある登山鳥居をくぐり富士山頂を目指しました。



⑩御師住宅（旧外川家住宅）
※小佐野家住宅は一般公開されていません

1768年に建てられた御師の家。御師は、富士登拝に訪れる富士講を迎え入れ、食事や宿泊の世話をするとともに布教活動も行い、富士山信仰を支えていました。



⑪船津胎内樹型
※⑫吉田胎内樹型の内部は一般公開されていません

937年の富士山噴火の際に流出した溶岩でできた世界的にも珍しい樹型の一つ。樹型の内部には富士山の祭神「木花開耶姫命」が祭られています。

芸術の源泉



富嶽三十六景 凱風快晴（葛飾北斎）
山梨県立博物館蔵

通称「赤富士」。凱風とは南風のことで、夏の朝、赤みを帯びた富士の山肌が日を受け、さらに赤く輝く現象が起こります。その一瞬を簡潔な構図と色彩で伸びやかに描いています。



富嶽三十六景 諸人登山（葛飾北斎）
山梨県立博物館蔵

つえを使って登る者、疲れて腰を下ろす者、岩室で休む者など富士山頂付近の富士講が描かれています。信仰の山としての富士山を主題にしていることが感じ取れます。



富嶽三十六景 甲州三坂水面（葛飾北斎）
山梨県立博物館蔵

甲府盆地と河口湖を結ぶ御坂峠からの景色を描いています。実際の富士山が夏の様子であるのに対し、河口湖面に映る逆さ富士には雪が積もっているところがユニークです。

日本遺産に認定されている 4つのストーリー

日本遺産とは、国内の各地域に点在する史跡や伝統芸能など、有形や無形の文化財をパッケージ化し、歴史的な魅力や特色を通じて文化・伝統を語るストーリーとして文化庁が認定するものです。山梨県では4つのストーリーが日本遺産に認定されています。

葡萄畑が織りなす 風景

—山梨県峡東地域—

山梨市/笛吹市/甲州市

甲府盆地の東部は平地から傾斜地まで葡萄畑が広がり、初夏には深碧の絨緞（じゅうたん）、秋には紅葉の濃淡が日に映え、季節ごとにさまざまな風景を魅せてくれます。

奈良時代から始まったとも伝えられる葡萄栽培は、先人たちの知恵と工夫により、かつて水田や桑畑だった土地を一面の葡萄畑に変え、またその葡萄畑に育まれたワインは日常のお酒として地域に根付きました。今も歴史を語る技術や建物は受け継がれ、葡萄畑の風景の中に溶け込んでいます。



甲州市勝沼地域のフルーツライン付近から望むブドウ畑



巨岩や奇石などを有し、希少な造形美を形成する昇仙峡

甲州の匠の源流・ 御嶽昇仙峡

—水晶の鼓動が導いた信仰と技、そして先進技術へ—

甲府市/甲斐市

昇仙峡一帯の山地は、水の塊と信じられていた水晶を産出する水源信仰の地であり、地域を流れる荒川上流を訪ねると大小の滝や巨岩、奇石を見ることができます。水がつくった芸術品ともいえる渓谷美は、地域の人々により日本有数の景勝地として磨き上げられました。

また、産出された水晶と匠の技として伝承される加工技術は、日本一のジュエリー産業の基盤になりました。さらにその加工技術は人工水晶製造技術へとつながり、電子機器などに使用されるなど、現代に至る私たちの生活を支えています。

星降る中部高地の 縄文世界

—数千年を遡る黒曜石鉱山と縄文人に出会う旅—

山梨県 甲府市/韮崎市/南アルプス市/
北杜市/笛吹市/甲州市

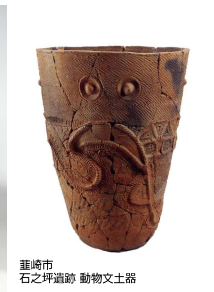
長野県 茅野市/富士見町/原村/諏訪市/
岡谷市/下諏訪町/長和町/川上村

日本の真ん中、八ヶ岳を中心とした中部高地には、ほかでは見られない縄文時代の黒曜石鉱山があります。鉱山の森に足を踏み入れると、そこには縄文人が掘り出したキラキラ耀（かがや）く黒曜石のカケラが一面に散らばり、星降る里として言い伝えられてきました。日本最古のブランド「黒曜石」は、最高級の矢じりの材料として日本の各地にもたらされました。

麓のムラで作られた、ヒトや森に生きる動物を描いた土器やヴィーナス土偶を見ると、縄文人の高い芸術性に驚かされ、黒曜石や山の幸に恵まれて繁栄した縄文人を身近に感じることができます。



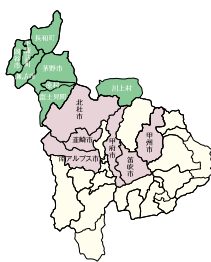
甲府市
上野原遺跡 水煙土器



韮崎市
石之坪遺跡 動物土器



南アルプス市
鉢物師屋遺跡 人体土器



北杜市
津金御所前遺跡 出産土器



甲州市
殿林遺跡 深鉢型土器



旧宮崎葡萄酒醸造場施設（宮光園）



大黒天印甲斐産葡萄酒と甲斐産エビ葡萄酒



宮光園での醸造作業風景



甲州市内の和風建築のワイナリー

日本ワイン 140年史

—国産ブドウで醸造する和文化的結晶—

山梨県 甲州市 茨城県 牛久市

国産ブドウを原料とし、国内で醸造される日本ワイン。その140年にわたる歴史において、甲州市の勝沼地域では、地元のブドウ農家と共存繁栄を図ることで、広大なブドウ畑と新日30ものワイナリーが誕生しました。また、茨城県牛久市の牛久シャトーは、大規模な醸造体制を確立しました。

明治の文明開化期、回嘗では果たせなかったワイン醸造を、それぞれの地域の特性を生かして、民間の力で成し遂げたのです。

日本のワイン文化の広がりや貢献した2つのまちに息づく歴史を知れば、ワインの味わいもより深くなることでしょう。

世界農業遺産

Globally Important Agricultural Heritage Systems

峡東地域の扇状地に適応した果樹農業システム



峡東地域には、果樹栽培による四季折々の美しい農村景観が広がる

世界農業遺産とは、社会や環境に適応しながら何世代にもわたり継承されてきた独自性のある伝統的な農林水産業とそれに密接に関わって育まれた文化、景観、生物多様性などが一体となった、将来に受け継がれるべき重要な農業システムを認定する制度です。古くから果樹の産地として知られ、独自の栽培技術や果実加工技術など、世界に誇る特色を持つ「峡東地域の扇状地に適応した果樹農業システム」が、令和4年、世界農業遺産に認定されました。

果樹農業システムの特徴

地形・気象に応じた多種多様な果実栽培

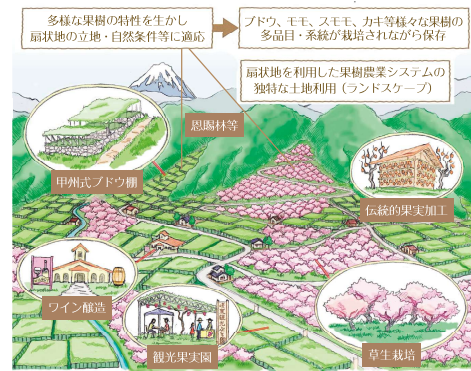
峡東地域では、扇状地特有の傾斜や起伏、土壌などの異なる自然条件や多雨・湿潤な気象条件に適応するため、効率的で独特な土地利用が行われてきました。適地・適作により、10品目以上、品種・系統数は300以上の多種多様な果樹を栽培する地域であり、卓越した栽培技術のある生産者が芸術品とも言える世界トップレベルの品質の果実を生産し、収益性の高い農業経営を実現しています。



栽培される多種多様な果実

長い歴史で培われた知恵と独自のシステム

峡東地域は、日本のブドウ栽培発祥の地とされ、ブドウ「甲州」は平安時代にはすでに栽培されていたといわれています。約400年前に峡東地域で考案された「甲州式ブドウ棚」は、降水量の多い日本の気象に適応するために開発された技術で、現在、日本のブドウ栽培の基本技術となっています。他にも、生物多様性を育む草生栽培、枯露柿やワイン醸造といった果実加工、観光果実園などとともに発展し、世界に誇る特色ある地域を形成しています。



峡東地域の果樹システムの概要図

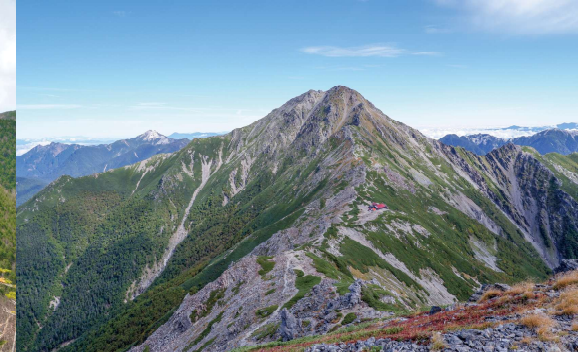
ユネスコエコパーク

Biosphere Reserves

甲武信 ユネスコエコパーク 南アルプス ユネスコエコパーク



奥秩父主稜の中心に位置する甲武信ヶ岳



赤石山脈の高い山々と深い谷

四大河の源流域

甲武信ユネスコエコパークは、甲武信ヶ岳、金峰山、雲取山などの山々が連なり、荒川、多摩川、笛吹川、千曲川の四大河の源流部に当たる奥秩父主稜とその周辺地域で構成されています。

豊かな地層と岩石に育まれた環境に多様な動植物が生息し、特にチョウ類は126種確認され、生物の希少な宝庫となっています。また自然と共に歩んできた長い歴史を背景に多様な文化が育まれ、民俗芸能や山岳・神社信仰が今もなお息づいています。

さらに、地理的特徴や気候を生かし、ブドウ、モモなどの果樹栽培や高原野菜のレタス栽培など特徴的な農業が行われています。

首都圏近郊にありながら豊かな自然を有するこの地域は、約1,800万人の暮らしや産業を支える水源地となっており、自然環境保全の取り組みも積極的に進められています。



ヒメギフチョウ



植樹活動

高い山、深い谷が育む生物と文化の多様性

南アルプスユネスコエコパークは、3,000m級の山々が連なる赤石山脈の急峻な山岳地帯とその周辺地域で構成されています。国内屈指の多雨多湿地帯であることから、森林の独特な垂直分布が見られます。また、キタダケソウなどの固有種をはじめ、水期の遺存種であるライチョウなど南限種が多く生息する、生物多様性に富んだ自然環境となっています。山麓部には準平原や水河地形が数多く残され、活発な地殻変動によって現在も年間約4mm隆起し続けています。

古来より急峻な山岳地形が交流の障壁となり、富士川水系、大井川水系、天竜川水系の流域ごとに習慣、食文化、民俗芸能などの個性的な文化圏が形成され、現代まで継承されてきました。麓の地域では、これら自然や文化を体験できるプログラム開発などの取り組みが盛んに行われています。



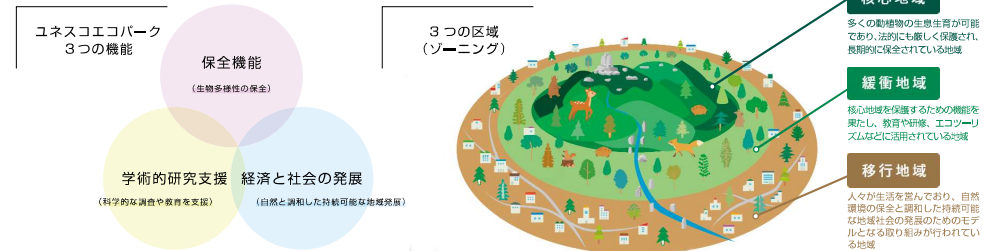
ライチョウ



キタダケソウ

ユネスコエコパークとは？

ユネスコエコパークとは、正式名を生物圏保存地域といい、生態系の保全と持続可能な利活用の調和（自然と人間社会の共生）を目的として、ユネスコが国際的に認定した地域です。日本では「甲武信」「南アルプス」をはじめ10地域が登録されています。





画像提供:甲府市

てんずしまい
天津司舞

昭和51年5月4日指定
(甲府市小瀬町・下鍛冶屋町)

日本第一号の重要無形民俗文化財に指定されている、日本最古の人形芝居である。その年の豊作を願って舞う田楽芸能の一つ。9体の人形は小瀬町の天津司神社を出発し、下鍛冶屋町の鈴宮諏訪神社の境内に張られた幕の中に入り、舞を奉納する。人形は等身大で、舞は水上での神々の姿を再現したものといわれる。現在は4月の第一日曜日に開催されている。



画像提供:富士吉田市

よしだ ひまつり
吉田の火祭

平成24年3月8日指定(富士吉田市上吉田)

吉田の火祭は北口本宮富士浅間神社とその摂社の諏訪神社の祭りで、江戸時代から富士山信仰の隆盛とともに賑わった祭りであると「甲斐国志」にも記載されている。7月1日の富士山のお山開きに対して、お山仕舞いのお祭りとして8月26日に行われる。巨大な富士山型の神輿が勇壮に渡御し、市内に並べられた大松明が燃やされる。

かわぐち ちご まい
河口の稚児の舞

平成29年3月3日指定
(富士河口湖町河口)

河口浅間神社の毎年7月28日の太々神楽祭に奉納されている。神楽に奉仕するのは、氏子の中の7歳から12歳までの「オチゴサン」と呼ばれる女の子。オチゴサンは両親が健全なことが絶対条件で、舞を奉納する1週間前からは4足のを食べてはいけないなどの厳粛さがある。



画像提供:富士河口湖町



画像提供:上野原市

むしよの だいにんぶつ
無生野の大念仏

平成7年12月26日指定(上野原市秋山無生野)

大念仏は人々が一堂に集まって念仏を唱える行事。江戸時代までは各地に伝えられていたが、現在でも完全な形を残しているのは、県下では無生野だけとなっている。この地域では鎌倉時代末期、後醍醐天皇の王子である大塔宮護良親王の悲運の伝説にちなんで悪霊退散を祈願したものが起源と語られている。令和4年、「風流踊」の一つとしてユネスコ無形文化遺産に登録された。

山梨の文化財

長年にわたる人々の生活の中で作り出し、守り伝えられてきた宝物
Important intangible cultural assets and national treasure of Yamanashi

ござくらかわおどしよらい
小桜韋威鎧
かぶと おおそでつき
兜、大袖付

昭和27年11月22日指定
(甲州市塩山 菅田天神社所有)

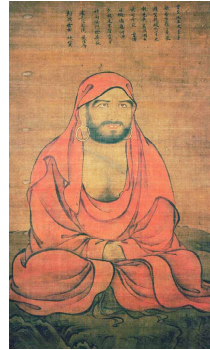
平安時代の風格を今も伝えるこの鎧は「楯無鎧」の名で知られ、御旗(甲州市塩山 雲峰寺蔵、県指定文化財)とともに武田家の重宝だったとされる。信玄の時代、鬼門鎮護のため菅田天神社に納められたが、武田氏が滅んだ際、敵の手に渡らないよう向嶽寺の大杉の根元に埋めたものを、徳川家康が掘り出し再び同社に納めたと伝えられる。



けんぼんちゃくしよくだるまざ
絹本著色達磨図

昭和28年11月14日指定
(甲州市塩山 向嶽寺所有)

達磨が朱衣に身を包んで岩上に座禅する本図は、その生き生きとした描写や重厚な筆致から、優品としての評価が高い。着賛している蘭溪道隆は、鎌倉建長寺を開山した中国からの渡来僧で、東光寺や永岳寺を開山するなど、本県にも関係がある。13世紀頃の作である。



けんぼんちゃくしよく
絹本著色
かけいさんすいざ
夏景山水図

昭和30年6月22日指定
(身延町 久遠寺所有)

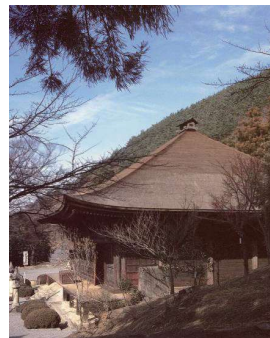
本来、四季山水図の一つとして描かれたものと考えられるが、春景図は失われている。京都金地院に残る秋景・冬景図二幅とともに北宋の徽宗皇帝の作とも伝えられる。12世紀初めとも、13世紀初めの作ともいわれるが、足利義満の所蔵印が押されていることから、14世紀には既に日本に伝来していることが分かる。北宋・南宋時代の山水図を代表する名品である。



だいぜんじほんどう
大善寺本堂

昭和30年6月22日指定
(甲州市勝沼町 大善寺)

鎌倉時代の密教系本堂の代表的建物で、東日本で最も優れた和様建築ともいわれている。内部の隅柱にある1286(弘安9)年の刻銘から、1270(文永7)年の火災で焼失した後、鎌倉幕府の援助を受けて再建された。山梨県では最古の建物であることが判明している。



せいはいくじぶつでん
清白寺仏殿

昭和30年6月22日指定
(山梨市三ヶ所 清白寺)

臨済宗の古刹・清白寺にあり、中世禅宗様仏殿の典型例として知られる。清白寺創建時の1333(正慶2)年の建築と伝えられてきたが、1917(大正6)年の解体修理の際に発見された墨書によって、1415(応永22)年であることが確認された。



スモモ

栽培面積、生産量ともに日本一です。スモモの常識を覆すほど大玉で高糖度の「貴陽」のほか、県オリジナル品種の「サマーエンジェル」や「皇寿」が目ざされています。



サマーエンジェル

貴陽

日本 No.1



夢みずき

日本 No.1

モモ

栽培面積、生産量ともに日本一です。「白鳳」や「なつっこ」のほか、県オリジナル品種の「夢みずき」や「夢桃香」などが栽培されており、7月の東京中央卸売市場では、本県産のモモが大部分を占めます。

ブドウ

栽培面積、生産量ともに日本一です。栽培されている品種はバラエティに富んでおり「巨峰」や「シャインマスカット」のほか、県オリジナル品種の大粒で着色に優れた「甲斐キング」や華やかな香りや赤い果粒が特徴の「サンシャインレッド」などがあります。また、日本固有のブドウ品種「甲州」は醸造用品種としても有名です。



甲斐キング

サンシャインレッド

シャインマスカット

日本 No.1

日本酒

令和3年に指定を受けたGI「山梨」の日本酒は、仕込みの水系が限定されているのが特徴。柔らかく透明感のある味わいは、塩気を感じさせる料理との相性が抜群です。



提供:山梨県酒造協同組合

ブランド食肉

山紫水明の自然豊かな山梨県で、磨き抜かれた飼育技術により丹念に育てられた「甲州牛」や「甲州ワインビーフ」「甲州富士桜ポーク」「甲州地どり」などの甲州統一ブランド食肉に加え、捕獲した二ホンジカを活用し、食肉の安全・安心を担保した「やまなしジビエ」などがあります。



やまなしジビエ(シカ肉)

甲州富士桜ポーク



甲州牛

日本 No.1

ワイン

山梨県は日本のワイン醸造発祥の地であり、都道府県別ワイナリー数、日本ワインの生産量とも日本一です。約90ものワイナリーが数多くの銘柄のワインを醸造しており、中でも、日本固有のブドウ品種「甲州」で造られる白ワインは、和食に合う味わいが特徴で、和食ブームが続く海外でも注目されています。



日本ワインコンクール2025 金賞受賞ワイン

富士の介

ニジマスなどの養殖業が盛んな山梨県で開発した富士の介は、キングサーモンとニジマスをかけ合わせた、日本で唯一の養殖魚です。山梨の名水と生産者の高い技術により育て上げられ、きめ細かな身質と、上品な脂がほどよく乗った、豊かな「うま味」を持つ魚です。



山梨の逸品

美しい風土の中で伝統に育まれた品々。素朴さと気品の中にやまなしの個性が光ります。

Specialities of Yamanashi

和紙

山梨県の和紙の歴史は古く、奈良時代末の773(宝亀4)年の記録には、全国の紙の産地として甲斐の名が記されています。市川三郷町の「市川大門手漉和紙」と身延町の「西嶋手漉和紙」は山梨県郷土伝統工芸品に認定されています。



花き

国内有数の洋ランの産地で、ファレノプシス(コチョウラン)、シンビジウムなどさまざまな種類を栽培しています。また、円すい形の花穂や花色変化が特徴のピラミッドアジサイをブランド化した「ふじさんアジサイ」は、本県オリジナル花きとして注目されています。



洋ラン

ふじさんアジサイ

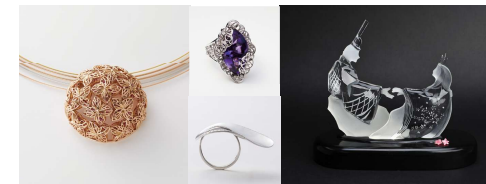
印章

全国有数の印章の産地である山梨県では、文久年間に水晶のてん刻が始まったといわれています。印材には、水晶、つげ、水牛などを使用し、機械彫り以外に手彫りによる印章も多く作られています。手彫りの印章は「甲州手彫印章」として国の伝統的工芸品に指定されています。



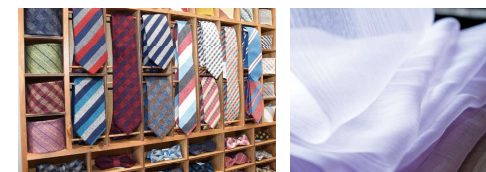
ジュエリー

山梨県は、宝石加工と貴金属加工が一体となった産地であり、研磨宝飾製品では、国内屈指の出荷額を誇っています。さまざまなジュエリーに加え、国の伝統的工芸品に指定されている「甲州水晶貴石細工」といった幅広い宝飾製品がそろっています。



織物(テキスタイル)

山梨県の織物は、独特の光沢や風合いで江戸時代より人々の心をとらえた「甲斐絹」をルーツとしています。現在、甲斐絹の技は婦人服、インテリア、裏地、傘地などに生かされ、ネクタイ生地では日本一のシェアを誇っています。また、新たなプロダクトとして夏服の製作に取り組んでいます。



印伝

江戸時代末期までに甲府城下を中心に生産が始められたとみられ、袋物として当時から庶民の間で親しまれていました。鹿革に独特の伝統技法を用いて漆加工したもので「甲州印伝」として国の伝統的工芸品に指定されています。



硯

山梨県郷土伝統工芸品である甲州雨畑硯は、材料の良さ、光沢の良さが世界的に有名な中国の高級品「端溪」に匹敵するとされ「和端溪」と呼ばれています。墨ののりがよく、優雅な使い心地のため、書道愛好家にも人気が高いものとなっています。





みみ
(富士川町)
富士川町十谷の集落に伝えられている郷土料理。小麦粉を練って薄く延ばし、3cmの正方形に切り「箕」(農作業で使う道具)の形を作り、季節の野菜と一緒に煮込む。昔、神様に奉納した「福箕」になぞらえて食べられるようになったともいわれている。



吉田のうどん
(富士吉田市)
富士吉田市では織物業が盛んで、女性が中心的な働き手であったことから、男性が食事の支度をしてきた。そのため簡単に作れ、非常に腰があり歯ごたえがあるうどんが、よく作られるようになった。具にキャベツをふんだんに使うことも特徴で、富士吉田市を中心に50軒以上のうどん店がある。



ほうとう
(県内全域)
「うまいもんだよ カボチャのほうとう」といわれ、誰もが知る山梨県の代表的な郷土食。武田信玄公が考案した陣中食であったといわれているが、文献上は江戸時代以降に多く登場する。峡南地域では「しの入れ」「しのしみ」とも呼ばれている。



カツ丼
(県内全域)
山梨県で「カツ丼」を注文すると、ご飯の上にキャベツがのり、その上にとんかつがのった丼が出てくる。この上にたっぷりとソース(ウスター)を掛けて食べる。とんかつの肉汁や、ソースが浸み込んだご飯も絶品とされている。県外で一般的な「卵でとじたカツ丼」は「煮カツ丼」と呼ばれ、別の料理である。

山梨の郷土食

各地域で受け継がれる山梨の食文化
Local cuisine of Yamanashi

富沢こわめし
(南部町)
南部町の名産品たけのこを用いたおこわで、旧富沢町で作られていたことから「富沢こわめし」と呼ばれている。地元で採れた旬の野菜も使用し、春の季節を感じることができる。毎年4月に、たけのこまつりが開催されている。



おざら
(中北地域、峡南地域)
おざら(おだら)は古くから伝わる郷土料理の一つで、ほうとうに使用するより細めの冷やした麺を温かいしょうゆベースのつゆにつけて食べるのが一般的。のど越しがよく、夏場に食べる人が多い。



せいだのたまじ
(上野原市)
たまじと呼ばれる小さなジャガイモをみそで甘辛く煮詰めた郷土料理。江戸時代の名代官・中井清太夫は、飢饉の際にジャガイモ栽培を広めて窮地を乗り切った。人々が感謝を込めてジャガイモのことを「せいだ」と呼ぶようになったのが、名前の由来といわれている。



鳥もつ煮
(甲府市)
鶏の砂肝、ハツ、レバーなどを甘辛く濃厚なしょうゆダレで照り煮した甲府独自の料理で、市内のそば屋やほうとう屋の定番メニューとなっている。「B1グランプリ」でゴールドグランプリを受賞し、山梨の郷土食として全国区となった。

小豆ほうとう
(中北地域、峡南地域)
まず小豆を甘く煮立て、さらにほうとうを入れて煮た小豆ほうとうは、地区行事や祝いの折にも食べられてきた。北杜市須玉町若神子の三輪神社で毎年7月末に行われる祭りでは、小豆ほうとうが振る舞われることから「ほうとう祭り」とも呼ばれている。



にんじんめし
(市川三郷町)
市川三郷町の大塚地区は「のっぴい」と呼ばれる土壌で、肥沃な上に石がほとんどないため、1mもの長さに育ち、食物繊維を多く含む。栄養価が高い「大塚にんじん」を育てるのに適した地域。毎年12月に「のっぴい農産物直売所」で収穫祭が開催されている。



酒まんじゅう
(上野原市)
炊いた米と米麴を合わせて一次発酵させたものを生地に入れて練り込んであんこを包んだ、上野原の粉文化が生み出した郷土食。かつて、上野原の甲州街道沿いは、甲斐綱(かいぎ)の里として市が立ち、江戸と甲州の多くの商人が行き来しましたが、この地に集まった商人達に愛され、広く伝えられたとされています。



馬刺し
(県内全域)
山梨県は主要街道である甲州街道が通り、また、富士山信仰で登山者の荷上げ用が必要とされ、馬が身近であったことから、馬肉料理が盛んになったともいわれている。馬肉生産量全国5位、吉田のうどんにも馬肉が用いられている。



月の朧
(甲府市、甲州市)
果樹王国山梨を代表する品種「甲州ぶどう」の粒を、一つずつ砂糖蜜で塗り固めたお菓子。昔菓子職人が、偶然甲州ぶどうを砂糖蜜に落としてしまったのが起源といわれ、甲州ぶどうの甘酸っぱさと砂糖の甘さが絶妙の組み合わせになっている。



うらじろまんじゅう
(甲州市)
日当たりの良い山野に生息するキク科のオヤマボクチの葉を練り込んだまんじゅう。甲州市大和町では、オヤマボクチを葉の裏が白いことから「うらじろ」と呼んでいる。ヨモギとは違った風味がある。



ジビエ料理
(県内全域)
ジビエとは、狩猟により得られた野生鳥獣の食肉のこと。野生鳥獣による農林業被害が深刻な状況の中、捕獲したシカ肉等の料理や加工品など、素材を活用した特産品づくり、地域振興に生かす取り組みが広がっている。県では、やまなしジビエ認証制度を創設し、より安全・安心なシカ肉の流通を推進している。

Prefectural Facilities Guide

主な県立施設ガイド

身障者用駐車場あり
 出入口平坦またはスロープあり
 車いす対応エレベーターあり
 車いす用観覧席あり
 車いす用トイレあり



県立美術館

1978年の開館以来「ミレーの美術館」として広く親しまれています。ミレーの代表作《種をまく人》《落ち穂拾い、夏》のほか、パルビゾン派の作家の作品や、山梨ゆかりの作家の作品などを収蔵。年4回テーマを設けて、展示替えを行っています。

甲府市貴川1-4-27 (芸術の森公園内)
TEL 055-228-3322
FAX 055-228-3324



県立文学館

樋口一葉、太宰治、芥川龍之介、飯田蛇笏、飯田龍太など山梨出身・ゆかりの文学者の原稿や愛用品を展示。特に芥川に関しては、全国でも有数のコレクションを誇り「羅生門」をはじめ約5,000枚の下書き原稿を所蔵しています。

甲府市貴川1-5-35 (芸術の森公園内)
TEL 055-235-8080
FAX 055-226-9032



県立考古博物館

先人たちの足跡に触れられる考古資料専門の博物館。中でも日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」の構成文化財である美しい縄文土器の数々は必見です。館がある曾根丘陵公園内には国史跡の古墳などがあり、専用のARアプリで当時の姿を体感できます。

甲府市下曾根町923 (曾根丘陵公園内)
TEL 055-266-3881
FAX 055-266-3882



※平屋建てなのでエレベーターなし



県立博物館

「山梨の自然と人」をテーマに、豊かな自然と向き合ってきた人々の暮らしの歴史を展示しています。令和7年には、未来を切り拓いた開拓者である甲州財閥の人々をはじめ、山梨ゆかりの人物たちを紹介する「やまなし人物探訪」がオープンしました。

笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055-261-2631
FAX 055-261-2632



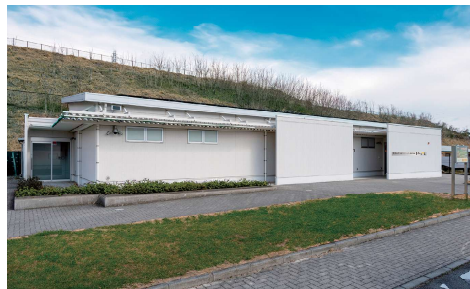
※平屋建てなのでエレベーターなし



山梨ジュエリーミュージアム

山梨の宝飾産業の歴史や職人たちの卓越した技術を紹介するとともに、その技術によって生み出される美しい宝飾品の数々を展示しています。土・日・祝日には職人による実演や、ジュエリー制作体験(有料)を行っています。

甲府市丸の内1-6-1
山梨県防災新館1階やまなしプラザ内
TEL 055-223-1570
FAX 055-223-1572



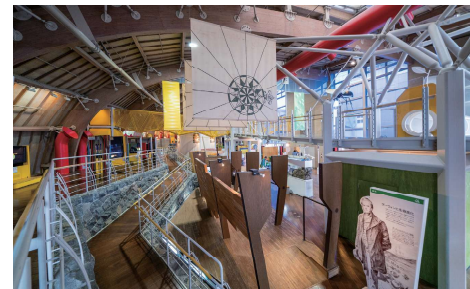
米倉山次世代エネルギーPR施設きらっと

「きらっと」は、山梨県が取り組んでいる水素などの次世代エネルギーの情報発信拠点です。エネルギー先進県やまなしの今を、みて・きいて・ふれて・体験しながら、次世代エネルギーの知識を学ぶことができます。

甲府市下向山町3443-1
TEL 055-269-6685



※平屋建てなのでエレベーターなし



県立科学館

「科学の不思議」を見て、触れて、体験して、学ぶ」をテーマに、体験展示やサイエンスショー、スペースシアターや実験工作などを通じて、楽しみながら科学を体験できます。

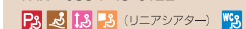
甲府市愛宕町358-1
TEL 055-254-8151
FAX 055-240-0168



リニア見学センター

時速500kmで走行試験する超電導リニアを間近で見学できる日本唯一の施設です。平成15年に世界最高速度を記録した試験車両を展示しているほか、リニアジオラマやミニリニアなど、体験学習機能が充実しています。(リニア走行試験スケジュールはHPにて要確認)

都留市小形山2381
TEL 0554-45-8121
FAX 0554-45-8122



山梨散策

A stroll through Yamanashi

山梨県は、東京圏に隣接しながら、富士山、南アルプスをはじめとする自然景観や、鮮やかに移り変わる四季、さらに豊かな山々と森の息吹に育まれた清らかで良質な水を有する「水と緑の宝庫」です。

また、ブドウ、モモ、スモモに代表される豊かな果物、温泉やワイン、武田信玄ゆかりの史跡や文化財など、特色あふれる地域資源に恵まれています。

山梨県では、これらの素晴らしい魅力を発信し、観光客の誘致や移住・定住者の増加を図っています。



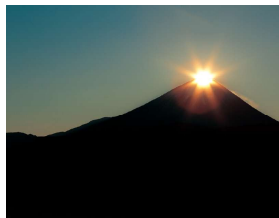
1 尾白川渓谷



2 明野のヒマワリ畑



3 新府桃源郷と南アルプス



4 富士川岡高下から望むダイヤモンド富士



5 武田神社



6 猿橋（日本三奇橋の一つ）



7 河口湖もみじ回廊



8 山中湖に映る逆さ富士

問い合わせ先

- 観光統計に関すること
観光政策グループ
TEL 055-223-1556
- 誘客の促進、山岳観光の振興に関すること
観光振興グループ
TEL 055-223-1557
- 国際観光、周遊観光の促進に関すること
観光地経営支援グループ
TEL 055-223-1573
- 県内観光地に関すること
(公社)やまなし観光推進機構
TEL 055-231-2722



武田菱丸

富士の国やまなし観光キャラバン隊長
富士の国やまなし観光ネット



山梨県へのアクセス

甲府方面

●お車でお越しの場合

東京方面から	高井戸IC	中央自動車道	約1時間20分
神奈川方面から	横浜方面	海老名JCT	東名高速
埼玉方面から	栗原橋JCT	中央自動車道	約1時間
長野方面から	松本IC	奥野道	約20分
愛知方面から	新清水JCT	中部横断自動車道	約1時間
静岡方面から	静岡IC	JR身延線	約20分

●電車でお越しの場合

東京方面から	新宿駅	JR中央本線	約1時間30分
長野方面から	松本駅	JR中央本線	約1時間
静岡方面から	静岡駅	JR身延線	約2時間20分

身延方面

●電車でお越しの場合

東京方面から	新宿駅	JR中央本線	約1時間30分	甲府駅	JR身延線	約1時間
静岡方面から	静岡駅	JR身延線	約1時間20分	身延駅		

河口湖方面

●お車でお越しの場合

東京方面から	高井戸IC	中央自動車道	約1時間10分	河口湖IC	
愛知方面から	名古屋IC	東名高速	約1時間	（磐城峡IC）	約35分
静岡方面から	静岡IC	東名高速	約50分	（磐城峡IC）	約20分

●電車でお越しの場合

東京方面から	新宿駅	JR中央本線	約1時間	大月駅	富士急行線	約50分	河口湖駅
--------	-----	--------	------	-----	-------	------	------